京城日報

本紙定價　一部金五錢　一箇月金壹圓五十錢
廣告料　普通行一行一圓二十錢　特別行一行二圓六十錢
編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話長六千九番　長六千九番ニ　振替京城三〇〇番

都市と社會事業（上）

東京市長　男爵　後藤新平

近來各國の都市は非常な勢ひで發展して來た殊に大戰後の好況につれて到る處の都市に大規模の商工業が勃興して地方の人口を吸集したが、昨年の財界の變動は再び戰前以上の状況を呈するに至つた。けれども一度都會に集中した人口はなかく減少しないのみか、却て其の度を增加して、今日では何處も彼處も人口の過剰を來して居る。從つて種々なむつかしい社會問題が起り、ために社會事業の方面にも幾多の變動を生じて、それまでの職業の方法施設にも改善を要さねばならないやうになつて來た。

戰後世界は今や改造の時機に遭遇して居る。で各國共に戰後の經營に汲々として居る。世運はかく進歩して居る、中に我日本も亦東洋の日本ではなく世界的の日本となり、我が東京市も世界的の首都として數へらるゝ樣になつたが此際彼我文化の內容を比較して見れば甚だしい懸隔があるのには誠に慚愧に堪へないのである。日本にも最近改造の聲が各方面から起つて、其多くは他を責むるのであつて自個改造について內觀がない。自ら修養研鑽することは心的にも物的にも極めて必要であるのみでなく、これが社會改造の根本義である。歐米各國の社會制度は自然自個改造を爲さねばならぬ樣な組立になつてゐるが、日本にこの組織がないためそこに社會的に大なる缺陷が生ずるのである。政黨の弊害も自治體の腐敗も、茲に端を發するのであつて、五大國の一なぞといつても此點に付いて改造をしなければ結局日本は敗殘國と同一の運命に陷るを免れないのである。

都市は文化の中心

種々な條件機關によつて市民は自由に職業を行ひ、個人の能力を自由に解放し、多くの機會を得るによいので、自己の生活をより一層向上せんとする目的で、都市に集中するのである。此の故に各地方の文物が此の人口集散の地としての都市に集中して來たのは歷史の示す所である。即ち文化の表徴は都市であつて、一國の文化は都市發達の如何によつて定まるといつてよいのである。斯の如く都市の發展は一國の運命を支配するけれども、都市そのものは元來地方人の集合體であつて、利害關係によつて結合されてゐる、從つて自己本位に流れ易く、自治思想並に公共心に乏しい。これ等が總て都市の發達を阻害せる原因となり、そこに社會事業の必要を生ずるのである。

[...] 定むることが最も必要である。若し此點に就て銘々の [...] を妨ぐることにな [...] の方法に關しては [...] を執ることが肝要 [...] 行の一段は當局 [...] に從つて成案を作 [...] 論評を加ふるの必要 [...] 者に娶して大都小 [...]

言論界

政界の一轉換期

【大朝】宮中にも府中にも偉大なる勢力を有してゐた山縣公の逝去は、藩閥官僚の大打擊にてその殘黨は根本から落ちた猿の如くなつた觀である。されば政局の前途には好き影響はあるとも惡しき影響のあらう筈なく、覺醒せる民衆を背景とする國の立憲政治に向つて進むには、時代の背景的勢力を排斥し盡すに好機會と謂ふべきである。或者は山縣死しても長閥は存する。桂があれば長閥が復活すると云ふけれど、吾人は村長が出來ても山公の如き勢力は出來ないと信ずる。何となれば長閥が山公を作つたのではなく、山公が長閥を築成し維持し勢力あらしめたので、一面に其數十年に亘る功勞勳績が個人的に公を重からしめたのである。故に此際政黨の領袖連も公の後繼者を[illegible]する必要はない。

普通選擧デイ

【國民】今日の普選デイを政黨者流は唯政爭の一種と見るであらうが、時勢は進歩して新しき思潮と決心とが國民を動かす時代が來た。普選も三四年前迄は反對であつた政友會が今は普選論者となつて居るのを見ると、普選は目覺めたる國民の聲であることが分る。此聲を聞かぬ者は徒らに耳を掩ふものである。國民の聲に耳を傾けざる現政府は無能政府である。現政府にして時勢を見るの明が存するならば行掛りを捨て速かに普選を行つて國家を救ふべきである。

陸軍と衆議院

【時事】陸軍大縮小の精神は建議者も決議案の提出者も、多數の國民も固より一致してゐるけれども、其實行方法に就ては各派の考案を比較商量して最善の方法を

屑屋の籠

羅馬より（中）

隈川生

伊太利の女中

言葉が解るとか、未だ解らぬとか申して居るうちに、早歳の暮になりましたが、久しく東京にばかり住ひました私には、町に出ましても、羽子板や紙鳶等を賣る店も見えず、何してもお正月前といふ氣分が致しません。それでも此程少しばかり餅を搗きましたので、元日には御雜煮で新年を祝ひたいと思つて居ります。私も此頃は、やうく伊太利語が片言交りに少しばかり話せるやうになりましたが、初めて此地に參りました時分には、全で唖のやうで、女中を使ふことさへも出來ませんでした。

女中は今二人ですが、一人は名をテレサと申し、田舍丸出のお婆さんで、極正直な働き者です。讀書の出來ない人でして、決して誤魔化したり、嘘を吐いたり致しません。お婆さんの癖として、何人にもあるやうな口やかましいといふことは免れませんが、然しそれも皆、家の爲めを思つて、言つて呉れるのであります。私は此お婆さんに初めて會ひました時に「是れから御世話になります、私も其內には御手傳ひしますから、恐らくのところ、忙しいのを忍耐へて、永く勤めて下さい」と言ひたいことは山々でしたが、一言も自分の口より出すことの出來なかつたは殘念でした。其後も或日のこと、私が『おまへのこしらへて呉れたお料理は、誠にお加減が好くて美味い』と、褒めたつもりで申しましたところ、お婆さん、何と聞いたのか、まごくして臺所の方を探し廻りますので、私もきよときよとして居りますと、事務室へ出かけて、『奥樣が何か食たいと仰つしやるやうですが、何をば召上がるおつもりなのか、訊ねて下さい』と言つたさうです。斯んなとんちんかんのことをば、毎日繰返したのであります、最近に至りまして、やうく臺所の事だけは、どうにか手眞似、口眞似で通じるやうになりました。

召使の他の一人は、私の話相手兼小間使と申すやうな若い女で、之を伊太利語にてシニョリーナと申すさうです。（お嬢さま……未婚婦人の稱呼……下女ではない者に使ふ）是れも亦伊太利語一方なので、初めは隨分困らせられました。或時、私は此の若い女に、髮を結つてもらひましたが、此御嬢さま、惜氣もなく私の抑へる手を振離して、日本の髮ぐらゐの大きさに、髮の毛をちよきく斷つて、頭の中を、ちやうど鷄み鰹のやうに、櫛鋏にてちりくと縮らせますのです。私が『あゝこれでは、日本に歸つても、もう大好きな丸髷に結はれなくなる』と泣きたいばかりのを怨耐へ、汗を流して居るのにも構はず、おりくと焼きますので、私は『沢山く』と頭を揃つても、ノーノーとか何とか言つて、私の頭を押へつけ、猶伊太利式の縮れ毛にして了つたばかりか、耳のあたりに火傷をさせたのであります。私は大閉口と謂はんよりも怒りたいくらゐでしたが、それでも御嬢樣は大得意で、早くコンマンダンテ（中佐）の處へ見せに行ツて寫眞にでも撮ツておもらひなさい』と言ツて居たさうです。

斯んな騒擾に、私は此地に來ました當座、言語の通せぬ爲めに、種々と氣苦勞をしたことは一通りではありませんでした。此の小間使の方は、大して働きはしませんが、至つて器量者で、子供を可愛がり、又私に伊太利語を教へて呉れます。私は日本に居ります時に、西洋人の女中と申すと、なかくえらくて、氣が強く、使ひ難いといふことを聞いて居りましたが、言葉さへ通じますれば、日本の近頃の女中達よりも、却て使ひよく、各自が其責任を重んじますので、誠に安心で御座います。尤も同じ伊太利でも、南部と北部とに由りまして、正直でおとなしい代りに惡闘だとか、何とか云ふやうな違ひはあるさうで御座います。

別天地

東京より　月影行人

庚申俱樂部とか申す處では、山縣公の國葬に反對した同議員が二人出たと云ふのでゴタくが起つてゐたが、結局無事に收つた模樣である。もとく同俱樂部は一人一黨主義者の寄合ひで、政見の合致に基く政黨ではない。國葬に贊成しようがすまいが本人どもの自由である筈だ。一體こんなことでゴタくするのが根本の間違ひである。併しこれくらゐのところが此人達の身上かも知れない。

各の爲に殊更に異を立て、奇を衒つて、下らない議論をするのは勿論褒めた話ではないが、良心不當の議論なのにも關はらず無理に不平を抑へて沈默を守る必要はあるまい。一夜作りに貴族院の院議を若くば院議の一致を捏造して、議院一致の議を成さんとするが如きは以ての外である。若し夫れ各議員をして夫々自由に思ふまゝに所信を吐露せしめんか其結果は却て反對の意味に於て議院一致であつたかも知れない。多數國民の意見も亦其邊に無かつたとは斷言出來ない。

憲政會內にも小さいゴタくが起つて居る。夫れは某議員が黨議に反して普選案に贊成した爲である。元來憲政會は本案に贊成であつたのを、本年に至つて態度を一變して反對することになつたのである。そこで他の議員は昨年贊成論をしたに拘らず、本年は苦しいながら反對意見を述べて居る。然るに一議員は黨議に反して贊成した。然るに之を許すならば吾々は脫黨すると云ふ者が出て來た。吾人をして云はしむれば問題は黨議に在る。速かに黨議を撤廢して黨員の自由と良心とを解放すべきである。

變な貴族院議員が出來るねえと言ふ者がある。例の名譽ある金杉英五郎君以下七氏が新に勅選議員と成つたことかと思ふとさうではない。僕は貴族院令の定むる所によつて當然貴族院議員たり又はたらんとして居る公爵大隈信常君、公爵山縣伊三郎君のことに就てである――尤も伊三郎君は既に勅選議員ではあるが――考へて見ると何んだか變な感じがしないでもない。

先年文學博士法學博士子爵某氏が死んで、其嗣子たる帝大生某が子爵に成つたとき、其の友人どもは彼も子爵ばかりでは物足りなかろ、文學博士法學博士も世襲したらよささうなものだがと評し合つたさうだ。實際學識のない者は學位を繼ぐことが出來ないとすれば、實際國家に勳功の無い者も榮爵を繼ぐことが出來ない譯だ。嗣子なるが故に榮爵を繼ぐと云ふなら、嗣子なるが故に學位を繼いでも可い譯だ。

アルスの最新刊

三部曲　高倉輝著
女人焚殺
著者六年の辛苦になる驚嘆すべき一大戲曲集。焰まつり。孔雀城。切支丹ころびの三部曲はいづれも永遠に盡きざる男女兩性の鬪爭と靈肉の葛藤を描き人生の悲哀と寂寥とを卒直端的に表現す。藝術的宗教的生命の旺溢せる一大力作なり。
四六判　定價貳圓八十錢　送料特入箱拾二錢

ある
迷宮の舞踏者
塚原健二郎著
青年渇仰の焦點たる新らしき村の活歷史、自ら鋤をとりし著者の傷ましき幻滅と悲愴なる內面生活の告白。暗黑と光明と愛憎との一大交響樂。白熱化されたる人類愛の結晶、彗星の如く現はれし敬虔眞摯なる新人の生々しき長篇の人生記錄。
四六判　定價貳圓六十錢　送料特入箱拾九錢

子規歌論集　古泉千樫編
竹里歌話
本書は明治文壇の巨人、歌壇の革命者、正岡子規の歌論歌話の全部を輯錄せるものなり。現下の歌壇は今や新らしき刺戟を要求す。千古を貫く眞理と達觀と熱烈なる言說は吾人に潑溂たる生命と强烈なる鞭達とを與へて止まざるべし。
四六判　定價貳圓八十錢　送料特入箱拾九錢

山本鼎氏著　美術家の欠伸（小說感想）　定價貳圓　送料拾七錢
若山牧水氏著　靜かなる旅を行きつつ（紀行）　定價貳圓五拾錢　送料拾七錢
齋藤茂吉氏選　正岡子規選集（歌集）　定價壹圓五拾錢　送料拾錢
島木赤彦氏選　伊藤左千夫選集（歌集）　定價壹圓五拾錢　送料拾錢
菊池寛氏著　文藝往來（感想隨筆）　定價壹圓六拾錢　送料拾錢
谷崎精二氏著　別宴（長短篇小說）　定價壹圓六拾錢　送料拾錢
宇野浩二氏著　美女（長短篇小說）　定價貳圓　送料拾七錢
新刊目錄往復葉書申込送呈 ◆ 東京神田仲猿樂町十五　振替東京二四八八八番　電話九段二六六九　アルス

新聞雜誌通信著述　記者養成講義錄　規則進呈
記者は無冠の帝王にて學歷の制限無く男女の別無く徒手空拳以て能く成功す、血燃ゆる若き人々よ本校に學びて一躍堂々たる記者となれ
電話九段二五七七番　操觚通信學校

財團法人　電機學校　生徒募集
◎夜間部豫科一、二期本科一期　◎校外生文豫科本科講習生……臨時入校を許す
◎夜間部高等科　◎實驗設備あり　◎申込三月末日限　◎規則書無料送附　東京神田區錦町三丁目十八番地

月おくれ新雜誌　定價の1/3
目錄は是非一度御覽あれ新聞名記入御申込次第無代送呈
東京月島　龍文堂雜誌部

新築紀念大募集
鐵筋混凝土四階建校舍落成生徒定員七千名ニ增加來四月第卅五回新學期ニ左ノ通リ募集ス
各本科一期へ三十名宛入學ヲ許ス
商業、土木、電氣、化學、機械、建築ノ
東京商工學校

飛行機　集募生學
◎自動車　卒業生の活動成功せるを見よ
日本自動車學校
東京蒲田驛前（ハガキにて申込次第無代送呈）

職業
日三圓　友榮商店

鐵道員養成教授
今や鐵道界は大欠員なり本校卒業生は各方面に大歡迎せられつゝあり
鐵道通信學校

金鑛長期貸與
所在　忠南公州郡灘川面光明里
種類　金鑛（含有量多シ）
設備　機械及附屬品居抜ノ儘
期限　長期
御希望ノ方ハ京城貞洞露國領事館ニ御照會乞フ

募集廣告
華頂女學院生徒　本科二十名　研究科二十名　專修科十名
幼稚園幼兒八十名
申込期限四月一日迄
平壤大和町　電話四一番

英習字　無代進呈
大日本英習字研究會

森永ミルクキヤラメル

總て一位

滋養に於て、風味に於て、そして皆樣の御愛用を蒙る點に於て第一位を忝ふするものは本品！

森永製菓株式會社

12–10

ABCの讀方から忽ち活用自在
大正十一年度版　速成活用英語自習寶鑑特賣
◇◇世界改造の機運天下に滿ち語學の必要愈急也◇◇
體裁　四六版七百二十四頁、總クロース金文字入美裝
特價　金貳圓五拾錢
部數　參千部限
配本　申込順により代金引換にて配本す
手數省略の爲一切前金の申込を不受候
註文申込先　東京市神田區表神保町　昇文館書店
速決――住所姓名明記の上ハガキで申込あれ!!!

朝鮮總督府巡査募集
○初任月俸約七十四圓以上
京城警察官講習所

第二回新學期　かな專習講義錄
總裁　小野鵞堂
附錄　漢字くづし方　見本進呈
東京四谷左門町　大日本かな專習會

京城　大阪屋號

最新刊
大西祝著　良心起原論及論集　五、二八〇
森明著　宗教者に關する科學及哲學　一、七五〇
石原越著　出隆著　哲學以前　三、〇八〇
エーテルと相對性原理　一、七六〇
古泉千樫編　竹里歌話　三、〇八〇
黑田源次編　西獨美術　一、七六〇
中里介山著　淸澄に歸れる白道　一、六五〇
高畑柳三著　藝術寫眞のラフレ方　一、八七〇

靴會抽籤（二月八日）
第十九回三八號　第十回二一號
平壤大和町　川俣洋品店

大歡迎忽壹百版
式辭　演說　資料　五分間演說集
日本青年通信社

米の條約批准近づく

諸協定上院に回附

【紐育電報】華盛頓會議の成立したる諸條約は多分三四日中に上院に交付せらるゝならん大統領ハーヂング氏は自身出席して其批准を促すべしと云ふ條約賛成者に取りては今日に於いて始めて樂觀意見を有つの時機來れり

【華盛頓電報】ホワイト、ハウスにて發表されたる所によれば大統領ハーヂング氏は海軍協定に附せらるべき凡ての軍艦の工事を中止すべき旨の命令を發する筈なりと但し該命令は海軍協約が正式に批准されたる後を以てはじめて發せらるゝならん大統領は既にガム比律賓の防備工事中止の命令を發し今回の會議にて決せられたる諸條約及び協約は今週上院に回附さるべき旨發表されたり

日支人雇用禁止令是認判決

【オッタワ電報】加奈陀大審院は日本人及支那人を官領地に雇用する事を禁止するブリチッシュ、コロンビア州の法令を是認する判決を下したり

第四十五次帝國議會

貴族院本會議（八日）

綱紀肅正と軍縮に依る剩餘金使途問題

【東京電報】八日の貴族院は諸般の關係上樞密院中參内の爲め登院遲れたると夜來の雪霏々として降りしきり議員の登院遲きとにて定刻より遲れ十一時四十分開會、德川議長は佐藤[illegible]氏逝去の件を報告し夫れより日程に入り

一、大正十年勅令第三百七十五號の承諾を求むるの件

内田外相 登壇、本案に關し下の如く説明す「我が國が他國々列に參加せし國際聯盟勅令の發布ありたるが今後之れを繼續するの必要あり仍て茲に其事後承諾を求むる爲め提案せり」と本案は議長指名に依る九名の委員附託となり次ぎに

一、大正十年勅令第三百七十九號の事後承諾を求むるの件

山内司法次官 登壇、我が國と獨逸との關係に就ては既に勅令を以て發布されたるがハンガリーと帝國との兩國民の財産管理の爲め緊急勅令を以て發布せられたるに依り其事後承諾を求むるに在りと提案の理由を説明し本案は前勅令第三百七十五號と同一委員附託となる次で

目賀田種太郎男 登壇、先日總理大臣の答辯中海軍政策は到底列國に於て我國防上安全なりとの理由に依りて政府は責任を以て之れを保障すと言はれしも昨日阪谷男の質問に對し高橋首相は現在の所にては徹底すること能はずと述べられたるが如し其責任及理由を明かにせられたしと要求す之に對し

高橋首相 我が國の國防上不安無く列國との國交を敦ふすると同時に負擔の輕減を圖るの目的にて陛下の御允しを得て華盛頓會議に參加して夫れ夫れ協定を爲せる次第なり尚お夫れの軍事に關する事項は此の際にてお答へすることを避けたし追つて適當の時機に讓りたしと答へ目賀田男再び問ふ所あり首相之に答へ次で

上山滿之進氏 登壇、前日質問の綱紀問題につき更に問ふ所あり第一、弛緩したる綱紀肅正に關し何等か適當なる措置をとりたるや第二、政府は綱紀を刷新する意ありや第三、政府は新たに法規を設けて綱紀を刷新する意なきや

高橋首相 綱紀肅正は其[illegible]所謂る賦く單に法規によりて或は賦命によりてのみ賦正する事[illegible]も政府は綱紀肅正の意ある事勿論なりと簡單に答へ次で

阪谷義明男 登壇、政府は軍縮による剩餘金を教育費に充當し又は治水費等に振り向くべしと陳べられたるが公債償金の返還に充當する意向なきや第二には豫算編成に關してなるが海軍費の如き軍縮の結果節減せらるべきは既定の事實なり而して國民の重税に苦しみ居れる事は明瞭なる事實なり當局の之に對する考へ如何と質して降壇す

高橋首相 阪谷男の軍縮による剩餘金を減税に充當すべしとの説は御尤もなるも政府は國防上の剩餘金を直に減税にのみ振り向くる考へ無し國家の大局より見て先づ以て治水費に充當するを以て可なりと信ず併し將來多額の剩餘金を得るに至れば減税或は公債償還に振り向くる事あるべし第二、軍縮に因る豫算編成替に就ては未だ確然たる減額を決定する能はざる今日如何ともなし難し早晩適當なる金額を算出する事を得るに至らば更に豫算を編成して協賛を仰ぐに至るべしと答へ零時十五分休憩、午後一時三十分再開、德川議長元田鐵相を喚く

元田鐵相 登壇、北海線不知の慘事を報告し尚陛下より一千五百圓を下賜せられたるは感激の至りに堪へざる所なりと陳べ之より質問に戻り

阪谷男 登壇、午前に引つゞき重ねて質問せんと欲す軍縮により生ずる財源の使用方法に對する首相の答辯につき尚一應確めおきたし即ち政府は臨時議會を開く意見なれば凡そ何日頃開會せらるゝやと質す

高橋首相 之に對し租税の輕減に對しては道理上に於ては軍費充當の爲め増税したるを以て軍備縮小により生ずる剩餘金は租税輕減に充つる事は一理なるも過去に於いては國防の設備に多くの金を支出し各國經濟上の競爭に對する文化的必要の設備をなす遑なかりしを以て此等に充當し剩餘金あれば減税に振り向くるものなり臨時議會召集期は今明言するを得ず勿論計畫を早く定め臨時議會召集に努力せんもお約束は出來ずと答ふべし

阪谷男 唯今の御答辯により稍諒解したり併し[illegible]

高橋首相 八艦隊建造の爲め補助艦を造るべく[illegible]

勝田主計氏 登壇、今日まで屢々質問ありしを以て成るべく重複は避けんと欲す[illegible]

德川議長 本日を以て國務大臣に對する質問は全部終了したり[illegible]

新任樞密院議長 清浦奎吾子

朝鮮開墾成行如何

政友豫算査定會

【東京電報】政友會豫算査定會にては朝鮮開墾會社と東洋拓殖會社[illegible]

總督 [illegible]

湯淺凡平氏 釜山、馬山間[illegible]

總督 [illegible]

南浦築港建議

鎭南浦築港完成に關する建議

税廢止建議案

【東京電報】[illegible]

樺山大將

【東京電報】樞密顧問官海軍大將伯爵樺山資紀氏は大磯に病氣療養中なりしが[illegible]

樞府副議長は伊東巳代治子

【東京電報】[illegible]

陸軍異動續報

【東京電報】八日陸軍異動左の如し[illegible]

極東條約公表

【東京電報】[illegible]

水野總監招待

諭告文の譯に就て

陶山通譯官辯明

多分法官部

日米海底線不通

【東京電報】[illegible]

朝鮮産業方針問答

＝下院豫算第三分科に於て＝

【東京支局特電＝延着】衆議院豫算總會第三分科會は七日午前十時半開會朝鮮問題に關する質疑應答左の如し

宮古啓三郎氏 朝鮮問題は極めて重大に研究する必要あるを以て質問に先ち朝鮮施政方針に關し近來の事情の詳細を聽取したし依つて此際出席の齋藤總督の所見を聽き度しと述ぶ

齋藤總督 總督府に於ては大正八年官制改正以後文化制度を採る爲め先づ治安の維持、教育の普及改善、産業の開發、交通衛生機關の完備を期する事を以て施政の方針となし居れり[illegible]

砂田重政氏 [illegible]

河内山局長 [illegible]

東武氏 [illegible]

阪上貞信氏 [illegible]

總督 [illegible]

七日薨去せる 海軍大將 樺山資紀伯

河内山局長 [illegible]

阪上氏 [illegible]

衆議院本會議（七日のつゞき）

[illegible]

下岡忠治氏 [illegible]

新朝鮮教育令に就て（三）

相互入學、大學豫科、實業學校

柴田學務局長談

[illegible]

小學校規程要領

内地の制度を朝鮮に延長す

[illegible]

恩賜工場處分

民間に拂下げん

[illegible]

制度改正に依り軍法會議を公開す

來る四月一日より實施

大山法官部長談

陸軍省に於ける全國各師團法官部長會議列席の爲東上中なりし第二十師團司令部法官部長大山文雄氏は八日夜臨任せるが車中出迎の記者に對し左の如く語る

[illegible]

朝鮮軍の異動

[illegible]

郵便局長會議閉會

[illegible]

人事消息

[illegible]

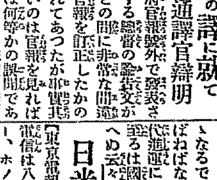
衆議院議事

[illegible]

月收參百圓 [illegible] 青松商會

山田式熱水爐（冷藏庫兼用）

經濟テ便利な湯沸器!! タドン一ツデ一斗ノ湯ガ容易ニ出來ル其ノ湯ハ魔法瓶ノ様ニ



[illegible]

大阪市東區北久太郎町二丁目十五番地ノ一

特約發賣元大和貿易株式會社

京城明治町二丁目 皮膚泌尿器、花柳病專門 京城皮膚科醫院 院長 一番ケ瀬慶次郎

東京女子醫學專門學校生徒募集

二月五日より二十八日迄 名菓羽二重餅 半額賣出 合資會社橘屋

◎債券高價買入 ◎債券擔保貸付 株式會社勸業債券月報社福岡支店

斯界ノ權威 時代と器具 大正十一年度 着荷 體育商會

百の廣告一の眞實

◎好評嘖々たる目下紳士間に大歡迎の舶來安全かみそり新荷着

合資會社 京日代理部

奉天財界駄言

▲態度申上げて甚だ相濟まない事ではあるが奉天の財界不況は實に何とも云へない現狀である一昨大正九年のパニック以來實に慘憺たるものであるが今年こそはと云ふので幾分お正月氣分も濟膨にする譯に行かず三月四月と月を跨するに從ふて大に活動し大に此不景氣を挽回したいものだと奉天人士の誰もが等しく覺悟して居る事だらうと思ふ▲處が三日奉天及び滿洲兩紙の東拓會社の申告によつて不斷の數種が公告されてある三錢、此の數錢を決行せんとする決心をする迄には如何なる經路や如何なる事情やが依在して居るかは知らぬが事を負とせざるを得ないものである、借款關係になつて居るものを債務者が債務を果さないから其の金がどうなるかと云はれるならば問題はないが▲苟くも東拓の融通なるものは兎に角ソンナ馬鹿なソンナ無自覺な處に權起して居るとは言へない人共に豫想だもせぬ處である、吾々邦人から見れば所謂特殊會社である、一般から見ればに於ける鮮滿開發に資すべき任務を有する事の一大使命を有するものとなつて居るのである。それが此不況のドン底に沈淪して居る際遭遇するもの如き東拓の家屋其他建築物のお手本を示す處は果して如何なる考へから出たものか▲奉天の不動産を擔保にして資金の融通してるものは單に東拓のみならんや朝鮮銀行其他の各銀行を始め土地建物會社起業會社等其他個人でも相當の數に上る筈である、其內で東拓は他の何れにも對して不動産擔保長期低利資金の融通即ち拓殖の爲め必要なる資金融通と云ふ點に於ては他は從であつて東拓は主たる立場に居る唯一の使命として居るのである▲それが他の金融業者の未だ多く試みざる競賣處分を行はんとするのは一體ドウしたものだらう、殊に從來東拓の家屋其他建築物に對する資金融通の程度は其擔保家屋の三分の一を超えるのは甚だ尠い、故に今東拓の爲めに競賣處分を受けんか云はゞ原價の三分の一で大部分の三分の二は犧牲にされて勝手氣儘にされて仕舞ふ事となる▲而して時期は前述の通り不況のドン底で是を競賣した處で果して東拓を初め他の債權者も又債務者も云はゞ共倒れの惡結果を見るに止まり他に何等得る處はあるまいと思はれるが是れも時期に際會すれば誰も彼も悉く生きて行く樣に解決がつきはせぬだらうかと云ふ希望は萬々ないでもない、一足狂へば千足の例へで東拓の口火で全奉天乃至は全滿洲の邦人の經濟は大に脅威され金融の惡運に遭遇せねば良いがと憂慮に堪へない點がある▲況んや東拓の進出は日本人相手の仕事が本來の使命目的ではない其他の外人の住民たる支那人は勿論其他の外人等皆等しく大切なお華客であらねばならぬ、邦人に對する競賣處分の內容經緯は兎も角此の行爲其ものに對する彼等の感想は如何なるものとなつて現れるだらうか、東拓自身は何と考へてるだらう、又奉天商業會議所の議員乃至會頭は此の行爲を是なりとするものだらうが、敢て其の御高見が拜聽したいものであると近來評判が高い

平康と飲料水
水の無い井戸が百卅二
姑息な施設では給水覺束なし
近く實査の上解決せん
奥田江原道土木課長談

【平康】過日來度々此紙上に掲載せられた江原道平康邑內飲料水の缺乏は久しき問題で由來江原道は全鮮一の高臺にして同地も海拔實に二千三百尺の高地で平康平野の東隅に在り山の西麓即ち頭山の麓にあり地盤は岩層多く井水の湧出が極めて微少なるため盛夏嚴冬の季に於て常に水涸れし住民の困難甚だしく大正五年以來年々地方費の補助に依り井戶の新設工事を行ひ現在に於ては共同井戶七個所私用井戶百四十個所を算するに至つたが渇水期に於て湧出するものは僅々八個所のみにて他は總て枯渇する狀況で到底從來の如き姑息なる施設では奏效覺束なきを以て大正九年六月道廳は技術員を派遣し同地西方の北面山麓四ケ所の湧水を集め邑內に導き給水の目的を以て調査せしめたるが水量は相當豐富なるも水源地は邑內より六十尺の底位にありて自然流下に依る能はず喞筒揚水の設備を要し夫れが爲經費及維持費に多額の金を要し施行困難なる爲、更に考究中であるが平康邑の近況は飲料水問題益々緊急を告げ捨て置き難きを以て近々道廳よりも技術員を派遣し實査せしむる筈である尚道廳から總督府土木部に水道專門技術の派遣を要求した何れ近々解決を告げる筈である

ジョ元帥
仁川觀察
二十二日午前九時著

【仁川】來鮮せらるべきジョッフル元帥は二十日京城著滯在中二十二日を割いて仁川觀察の筈なるが當日は午前九時特別列車にて仁川驛著午前十一時發歸京の豫定なるが外事課長の案內の下に自動車に搭乘仁川郵便局府廳築港等を觀察し後各國公園に登りて仁川の風光を展望する順序となれり元帥の下仁に際しては府名譽職は勿論各學校生徒は佛國旗を翳して仁川驛前に迎へ歡迎の意を表する筈なりと

取引所が
公會堂を寄附

【仁川】仁川米豆取引所の增資記念として仁川府で六萬圓の公會堂建築に際し寄附の件に就て深川府尹の申出で事情を過日の臨時總會に報告協議する處ありたる結果八名の委員を擧げて充分の研究を重ね而して來る四月の定時株主總會に提案する事と決したるは當時所報の如くなるが六日午前十一時頃より取引所に於て取締役會を開き續いて午後一時より聯合委員會を開き協議したる處京城側委員に於ては先づ二萬圓位の寄附を適當と認むるも結局仁川側の希望も認めて三萬圓支出と決定之を來るべき定時總會に提出する事に決したが而して此の支出は臨時積立金より支出し本年度收益金中より三回位に亘つて補充する方法を執るを適當と認め株主配當に影響を來たさゞる範圍に於て該支出期に支出する豫定なりと何れ來る四月の總會に於て委細會の定めの通り決定を見るべしと

全州學組改選

【全州】全州學校組合評議員十二名の總改選期は來る三月七日と決定したるが五日より七日間有權者名簿の閱覽を許し居れるが今期選擧には多少違つた顏觸れの候補者あるやに早くも下馬評を爲し居る筋さへありと噂され居る模樣なれば競爭激烈を極めるであらう

仁取手數料問題
實行委員二名を增加

【仁川】仁川米豆取引所仲買人組合が目下手數料現行百石に對し二圓五十錢を一圓五十錢の割合を以て取引所と仲買との分配率となれるを更に仲買三圓取引所一圓と其分配變更の運動を開始し盛に實行委員五名を擧げたる事は既報の如くなるが七日組合總會に於て更に二名の實行委員を增加し委員長指名の下に新に辻川宮藏、野中喜四藏兩氏を擧げたり而して此の七名の實行委員は同日淺野仲買店樓上に委員會を開き今後に於ける運動方法其他に就て協議する處あり近く積極的に徹底せる活動を起すべく總會を聽へつゝありと果して如何なる結果を齎すか

平壤市電
近く認可されん

【平壤】平壤市內電氣鐵道敷設案は去る四日の府協議會に提出され原案通り滿場一致を以て可決通過したり右案は曾て委員會に於て調査され當局の諒解をも得既に委員會の手を經て正式に出願され居るものなれば近く認可指令も之れある可く府に於ては其指令を得次第直に工事に着手する方針なり、第一期計畫線は平壤驛前を起點とし本町、大和町、南門町を經て新倉里新倉裏官廳出張所前に至る復線二哩にして此の費用は四十八萬圓一ケ年收入豫算は一區間五錢にして之を三厘とし百五十萬人の乘客見積此の收入十六萬圓支出豫算は十萬八千五百三十八圓の事業費なれば差引利益金五萬一千四百六十二圓となる而して第二期收入額は目下未定なるも大正十一年度より五萬哩計畫を以て市區改正を行ふ可く之に伴ひ延長線を延長する方針なりと

魚市場の水揚
酷寒で大減少

【清津】一月中の清津魚市場水揚高は總額八千八百八圓二十錢にして之を昨年の同期に比すれば實に三千六百餘圓の大減少である原因は寒氣酷烈の爲めなりと

朝鮮澱粉復活

【元山】昨年來休業の狀態にありた朝鮮澱粉會社は今回東京の大和工業會社と合併する事となり既に假契約を了し近く開催すべき東京に於ける總會にて具體的決定を見るべく右決議の準備の爲め來元せる熱田取締役の談に依れば大和工業は水飴製造を主とし原料たる馬鈴薯澱粉は從來北海道産を使用し居りしも採算上不便用の餘地減少なるに反し朝鮮産の粗品は移出稅撤廢の今日生産費も頗る合なるのみならず原料として化學的より打算するも遙に北海道産品に比し低廉にして品質優良なるを以て原料は總て朝鮮産に仰ぐべしと而して右搬出は鐵道航路に依るべし

元山築港
引込線試運轉

【元山】海陸作業全部を終了せる元山築港は目下陸上施設を急ぎ居れるが近く引込線の試運轉を兼ね第二號大上屋を開設に供する事となれり右に使用する貨物は內國通運取扱に係る滿洲大豆七車にして來る十三日著驛に附けにさるべき能登丸が積取り伏木に輸航するものなりと

地稅納入好況

【大邱】慶北道に於ける第一期地稅の調定額は八十七萬三千百七十九圓にして一月末現在收入八十七萬二千四百五十二圓を示し居れるを以て殘額は僅七百二十七圓なれば調定額に對する九割九分九厘の步合を見之れを前年同期の九割八分に比すれば本年度は頗る良成績を示し居れり

減少した
間島の出穀高
例年の三分一

【間島】十年度に於ける間島地方の穀類は旱魃の爲め平年作の三割九分減收である、即ち其生産百十一萬千五百八十一石にして輸出可能高が四十三萬五千石であるが、當地までに既に一萬八千九百石しか出て居らぬ、年に比し約三分の一の激減である內地相場の引合はざるに依るは勿論だが來る三月頃までには幾分搬出も見るであらう

不渡手形減少

【安東縣】去る一月中安東縣の各銀行に提出したる不渡手形は受入れ八十一枚此の金額六萬二千三百三十二圓五十九錢安東より他に振り出し十一枚此の金額一萬四千二百八十六圓十七錢にして之を其前月たる大正十年十二月に比する時は約一割五分の減少を示したり從來の實例によれば不渡り手形の理由は金融逼迫に伴ふもの多かりしも一月中の不渡り理由は荷違ひに原因する者多く假令ば豆粕五千俵を受取るが如き例にして不二萬の注文に對し二萬餘附したるも受荷主側の在貨消化難の爲めに一萬渡の理由も非常に緊買味を帶び來れり是一般景氣の回復せんとする曙光にあらずやと某銀行業者は觀測し居れり

解氷早からむ

【安東縣】國境地方は一月十七日頃より激寒襲來し十八年來未曾有の寒氣と稱せられたるが二月に入りてより急に氣溫高まり五日頃より鴨綠江上の氷塊は暖氣の爲め融解を始め氷上運搬の不便を感ぜしむる傾向にて本年は三月中旬に入らば流氷を見るに至らば或は水上交通困難なるべく其の未だ不便を感ぜざるも本月末に於ては解氷を見るに至るべし

署長の種痘宣傳

【江陵】江陵警察署長は種痘宣傳の爲め舊正月最終市日に市場に立つて宣傳ビラを下附し熱心に宣傳に努められたり

內鮮大懇親會
紀元節をトし

【羅南】咸北道廳所在地の羅南では十一日紀元節(陰曆十五日に相當す)をトして在住內鮮人の一大懇親會を開く筈で會場は劇場娛樂場とし餘興には小學普通學校生徒の學藝品陳列や音樂演奏會等もあり道廳、師團、民間の三者合同發起にて一大盛會を見るであらう

心細い貯水量

【新義州】新義州水道昨今一日の消費量は平均六百石で現在の貯水量一萬三千石よりないとのことである依つて今後解氷迄如何にして供給するや府當局は頭を惱まして居るが氷塊の解けるも近きにあると府民の公德心に訴へ充分節約すれば怎うにか斯うにか緩水期を過ごせやうと言つて居る

府營浴場增設か

【平壤】平壤府營公設浴場は近時非常に入浴者が增加した一月中だけで一萬三千三百二十四人の入浴者を見たが之を一日平均に見て四百九十三人其入浴料金が五百四圓九十一錢で一日平均が料金十八圓七十錢に當り既に一個所では不足を感ずるので府に於ても更に新市街地方面に今一個所設置したい意嚮があるらしい

大田簡商の
昇格見越入學と
形勢觀望組

【大田】大田簡易商業學校昇格問題に對する在校生及一般市民の希望に就いては既報の通りなるが本年四月新學期より入學する鮮人學生は約四十名に及ぶも一般の感想は豫て昇格を見越して入學を希望するもの多く殊に內地人商家子弟に於ても果して

稅關廳舍工事

【新義州】築港內に工事中の稅關新廳舍は目下基礎工事を急ぎ居れるが移轉は七月下旬となるべく本廳舍は二階建にして建坪百八十坪なりと

稅關兩課移轉

【元山】元山稅關の一部たる稅務監視兩課は本月中に築港倉庫事務所に移轉の筈なりしも土木部の都合に依り四月末に延期されたり

平北道廳舍竣工期

【新義州】新義州に建設さるゝ平北道廳舍本館工事は漸く竣工し大正十三年三月末迄に竣成の豫定なるも請負者に於て出來得る限り工事を急ぎ明年十一月迄に完成せしむべしと

林業技術員會議

【馬山】慶南道廳に於ては來る二月十七日より二十日まで四日間管內各府郡駐在林業技手(林業)を召集し會議をなす筈

府協議員表彰

【新義州】新義州府に於ては紀元節の佳辰をトし地方制度改正當時在職の府協議員松浪、多田榮吉、増田光平、金基鴻、金鐵湯五氏の表彰式を府廳樓上に於て行ふと

城津郡面長會議

【城津】城津郡面長會議を七日より三日間郡廳に於て開催したり

城津郡農事講習會

【城津】城津郡農事講習會を六日より十日迄五日間郡東面雙浦洞に於て開催せり

高普新設
咸北の喜び

【羅南】道民鮮人の熱望して居た高等普通學校は愈々來る四月から道內鏡城に新設さるゝ運びとなり第十一高等普通學校と稱せらるべく鏡城高普校教諭山口喜一郞氏が校長として榮轉さるゝ筈である新設の費大部分(十三萬圓)は地方寄附金として道內府郡より醵出完了して居る

優良生徒表彰

【平澤】振威郡にては管內各普通學校生徒中校の內外を問はず成績極めて優良なるもの四名を選拔し優良學生として表彰することゝなり十日平澤、振威及有志の臨席を乞ひ左記四名に對し表彰式を執行した
▲平澤校李春載　李庚茲　▲振威校高鍾健　車存成

釜山の大綱引

【釜山】陰曆正月に於ける綱引は朝鮮古來よりの稀有な年中行事の一つで最も盛大を極めたるが永らく中絶の姿であつたが今回東萊溫泉釜山鎭方面の在住鮮人有志が發起で其筋の了解を得て發走の結果五千圓からの寄附があつたので十一日十二日の兩日釜山鎭の地に於て參加者三萬人の筈にて綱引を壯快に行ふ事となつた

兩難一掃
釜山の喜雨
漸く愁眉を開く

【釜山】過般來の渴水の爲め給水制限せし結果水道枯渇し飲料水の大缺乏を告げ殊に頻々たる火災にて府民一同は眞に水火の苦難に遭ひつゝあつたが七日朝來より盛んに降雨あり漸く愁眉を開くに至つた

驛屯土拂下收入

【大邱】一月末現在慶北道管內驛屯土拂下豫定額三十六萬四千百九十三圓に對し收入三十三萬五千一百二十一圓にして收入未濟二萬九千百八十二圓即ち九割一分九厘の步合を示せり

一月木浦貿易

【木浦】一月中の木浦港貿易額は輸移入五十萬六百十圓輸移出百○七萬七千三百七十八圓合計百五十七萬七千九百八十八圓にして之を昨年同月に比すれば輸移入に於いては廿三萬七千餘圓を增加したるも輸移出に於いては七萬八千四百餘圓を減少せり

幼稚園始まる【安東縣】

安東幼稚園は二月六日より安東縣の幼稚園は七日より何れも開園したり

馬印ウヰスキー

悲田院へ寄附【仁川】

仁川寺町久本田商館氏は今回仁川悲田院へ對し救療資中に金三十圓を寄附したり

客歲傳染病發生數

【新義州】府廳の調査に依る昨大正十年中の新義州府內に於ける傳染病發生數は▲チブス一四▲赤痢五(內死亡二)▲パラチブス一▲猩紅熱七(內死亡三)▲天然痘一二(內死亡六)で前年に比し尠かつたと

仁川驛成績

【仁川】一月中に於ける仁川驛運輸成績は合計五萬四千五百二十二圓十一錢內客車收入四萬五千三百九十八圓十七錢貨車收入九千百二十三圓九十四錢にして之を前年同期に比すれば客車收入に於て三千二百三十圓餘の減少となれるも貨車收入に於て四千二百十四圓餘を增加せり合計に於て七千四百四十五圓餘を增加せり乘車人員二千八百九十二人降車四千三百七十人入場人員四百三十八名手小荷物發送貨物數十二萬九千二十八斤到著八萬二千八百二十二斤貨物發送噸數一萬三千五百五十噸到著二萬二千三十噸を算す

批峴驛成績

【仁川】一月中批峴驛運輸成績は客車收入二萬六千四百六十二圓、貨車收入一千七百五十六圓、貨車收入三百十八圓之を前年同期に比すれば客車收入三千二百八十九圓、貨車收入四百一圓、貨車收入八十四圓何れも增加せり乘車人員三萬二千九百九十二名、降車三萬八千三百二十二名、入場一千九百四十九名手小荷物發送二萬五千六百六十斤到著二萬五千三百二十五斤貨物發送噸數二百四十一噸、到著五百九十七噸を算せり

銀行會社

安東信託開業

【安東縣】安東取引所信託株式會社の創立總會終了後同社は以下の重役も決定したるが其の開業期は二月十五日頃よりなるべし

安東金融會社

【安東縣】在安東中流以上鮮人の金融機關として朝鮮に行はれ居る金融組合の如きものを創立せんとする計畫ある事は既報の如くなるが其の後同計畫は進捗して本月末頃一口付金一圓宛を拂込み直ちに營業を開始する運びとなし最初毎月一圓宛四個月に拂込み金一萬圓を運用資本とし別に差し當り五千圓を募集する事となり當分官憲の補助を仰がず大に在滿鮮人金融の爲めに範を示さんとするものなりと

銀行團規約起草【安東縣】

在安東縣銀行業者は從來金融會と稱する會を設け毎月一回位ひ茶話會を催し同業者の懇親を謀り且つ利害問題を研究して來りたるも同會には正式の規約ある事なく唯德義上申合せ的に過ぎざる場合多く一旦決議したる事項に對しても兎角實行難の傾ありしに鑑み鮮銀安東支店長後藤登丸氏は組合規約制定の必要を認め目下其の規約の起草中なれば不日脫稿の上之を發表するに至るべしと

地方集會

▲志賀博士歡迎宴(全州)　總督府病院長志賀博士は八日群山より來全道院長並に慈惠醫院其他視察したるが午後六時より一樂に於て官民有志の歡迎會に臨みたり
▲郵便局例會(新義州)　新義州郵便局二月例會は十一日午後六時より二樂新館に於て開催する事となれり

地方人事

▲松田一雄氏(大田工務所長)　京城に於て開會したる所長會議列席の爲め出張中なりしが七日歸所(大田)
▲松尾得一氏(大田郵便局長)　京城に於て開催の郵便局長會議列席の爲め七日出城(大田)
▲市川登氏(安東取引所信託重役)　創立總會列席の爲め來安中の處七日夜行列車にて京城へ
▲宋台觀氏(同上)　同上
▲隅田孝吾氏(同上)　同上
▲石川警務部長(全州)　齊藤高等課長及び金川警部等を從へ八日より一週間淳昌高敞等の巡閱を爲す

仁川加留多大會

期日　二月十一日紀元節正午
會場　仁川八坂樓
會費　一圓晝餐を供す
主催　仁川漣會
後援　京城日報仁川支局

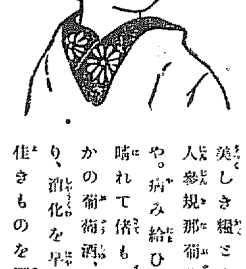
社告

小島盛也
右ハ不都合ノ廉ヲ以テ諭旨退社ヲ命シタル者ニ有之候條此段謹告候也
京城日報社

民衆化せる
胃病良藥
太田胃散
食過ぎ飲過ぎにヨクキク
價　廿五錢　五十錢　壹圓
本舖東京　太田信義藥房

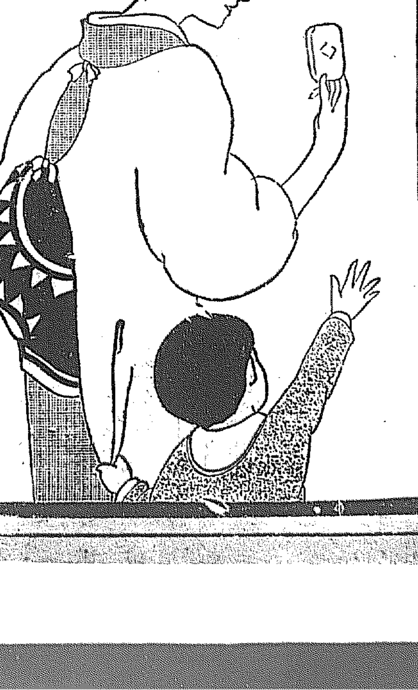
金牌受領
本椿香油
髮黑く長うする
本舖 … 三宅堂

斯界の權威
目藥 アドラ
高峰博士發見……各國眼科
大醫稱讚の眼科靈藥……
アドリナリン……を主藥とす
(全國藥店にあり)
定價 廿錢、卅錢、五十錢
東京室町
泰昌製藥株式會社



君は日毎に健かに
君は日毎に華かに
美しき糧と世に謳はれしホシ人參規那葡萄酒を君召せるにや。病み給ひける御姿あさなう晴れて倖も美はし、倖も健か。かの葡萄酒、味甘くして人參あり、消化を早む規那のあり、君佳きものを選び給ひけるかな。
ホシ人參規那葡萄酒
東京　星製藥株式會社

お化粧の順序
カテイ石鹸　クラブ洗粉　クラブクリーム　クラブ白粉　クラブ頰紅　クラブ煉白粉
美人
顏のアレぬ
カテイ石鹸
優良な技師に依て作られた優良な品
アレ知ずに此の冬を……
石鹸といへば必ず肌を荒らす者のやうに思はれてゐた謬想は「顏のアレぬカテイ石鹸の出現」に依て全く打破されました
顏のアレぬカテイ石鹸と一番よくきくアレ止美身料クラブ美身クリームの御愛用に依つて



船火事　商船印度丸

追悼會

馬賊二百名　大洋島に潜伏

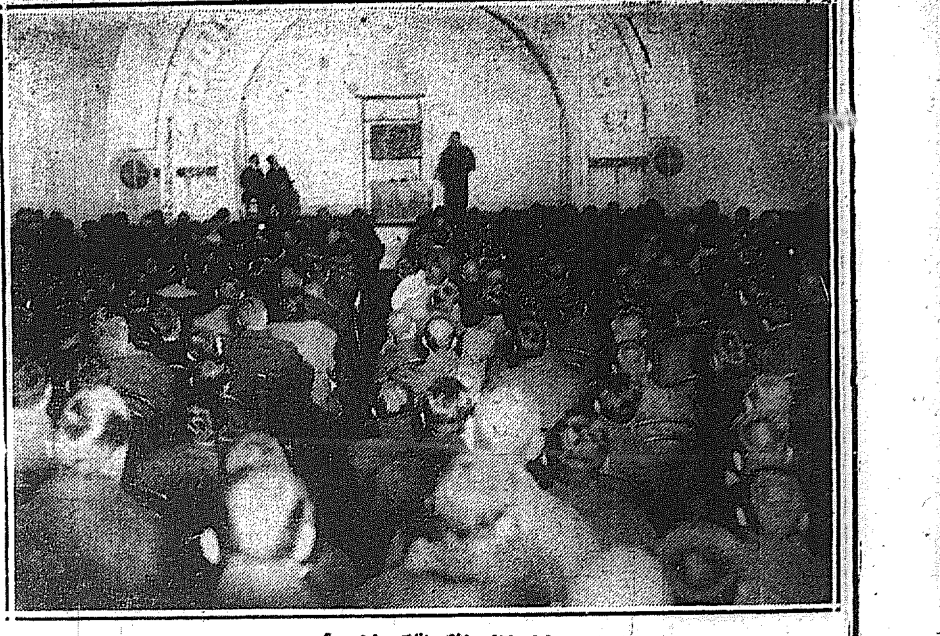
遭難地慰問

婦人と家庭

家庭生活の改善（中）

法學博士　末廣重雄

然らば米國人の收入は何うであるかといふに、是は日本人の收入とは較べものにならぬほど多いのであつて、何人も知る如く收入の多い事は米國人を以て世界第一とせねばならぬ。殊にその勞働者の如き、世界で一番多い勞銀を獲てゐるのである。今二三の例を擧げんに、昨年八月大阪に於ける勞働者の勞銀調査に據れば、大工が一日平均三圓三十錢であるのに、米國の大工は一時間が約一弗、即ち我二圓であるから、假に八時間働くものとして一日十六圓、即ち我國の大工の約五倍の收入がある。我國の鍛冶工は一日三圓六十錢であるが米國では一時間が二圓四十錢であるから、八時間勞働とすれば約十九圓である。更に勞働者の中で勞銀の高い石工は我國では一日が四圓二十八錢であるが、米國では一時間二圓二十錢一日で一寸十九圓程である。先づ斯ういふ工合に、孰れを見ても米國の勞働者の方が我國の勞働者より勞銀が四五倍高いのである。況して彼我の國民の所得を比べて見るに我國の一人當り一ヶ年百六十圓に對して、米國人は七百圓になるから、つまり四倍強になる。物價は我國と大した相違がなく、しかも收入が日本人に數倍するといふのであるから、米國人の生活は日本人の生活に比べて非常に餘裕があるといふ事になる。米國では働きさへすれば生活難などは襲はしたくもないわけであるのに、我國では生活に餘裕がなく、貧乏に追ひつく貧乏ありといふ狀態である。何とかして日本人の生活を豐ならしめ、米國人のやうに人間らしい生活が出來るやうに工夫を講ぜねばならぬ。然る處我國は土地が狹く、天然資源が貧弱であるから、この儘では商工業はこの上盛んになりさうになく、國民の所得を増すことが出來ない。然るに物價は非常に高いから困つたことである。然しこの物價が高いといふ事は必ずしも世人の云ふ如く政友會內閣の物價政策が誤つてゐるといふやうな事ではなく、又一家の主婦の心掛が悪いからばかりでもない。それは米國婦人のやうに市場に買物に出掛けないから、僅十錢か二十錢かの魚を購ふにも御用聞をして一家數日を支ふる魚屋といふ小賣商人の存在を許すことゝなるので、現在に於て物價が高いといふのは、我國の主婦たる者の責任もないとは云へない。然らば何が騰貴の原因かと云へば人口が多くて物資が少いといふ事になる。



本社主催　性相學講演會　【五面記事參照】

臺灣の印象【8】

殘月生

險峻な山間に棲む 十三萬の生蕃

その中にもいろ／＼な種族がある　獰猛で危險なのはタイヤル族　然し協同一致の精神など毫頭ない

臺灣といへば一萬三千尺の新高山は思ひ出さぬ者も生蕃といふ名前に對して一種の好奇心を催さぬ者はない。臺灣の話をして少しも生蕃のことに觸れないのは北海道の話をしてアイヌの事を拔きにするやうなものである。イヤ北海道のアイヌは人類學の材料たる以外には今殆ど問題でないが、生蕃は臺灣統治上に於ける重大問題であり難問題である。茲に少しばかり聞いて來た事を記して臺灣話の灰を撒へて置く。

臺灣を縱に割ると其東半は山地である此山地が即ち生蕃の住所である面積から云ふと臺灣の半分以上を占めてゐる。勿論此處には新高山を始め一萬尺以上の高山が四十八座もある峻山幽谷の事であるから人間の生活に適する地域は面積の割合に甚だ少いのであるが、道は蕃人のことゝてソンナ險峻な山地にも此方彼方に部落を作つて生活するのである。生蕃は大別して北蕃と南蕃とに分けられる。北蕃は臺中市と花蓮港とを

横に連結した線の少し南方から臺北市の近所に至る迄の山地に住してゐてタイヤル族と呼ばれる者である。南蕃は北蕃の南部から臺灣の南端迄に住居してゐるブヌン族ツオウ族パイワン族アミ族の四種族である。此外に臺灣の南端を距ること十六七里の洋中にある紅頭嶼にヤミ族といふ一種族がある。統治上最も厄介なのは北蕃即ちタイヤル族であつて例の隘勇線で包圍して蕃域中の獰猛な生蕃である。勿論北蕃でも南蕃でも

馬來人種 であつて時代は判らぬが餘程古くから本島に移住したものらしい。初めは全島に蔓延してゐたのであらうが支那人種の移住の爲めに追々と山地へ追ひ込められたのであらう。北蕃は蕃族中最も廣い地域を占有して人口は三萬二千位であるが、目下最も危險な種族である。其部族が二十三部に分れ其一部族が又多數の蕃社に分れてゐる。蕃社の總數は二百五十四社で戶數にすると六千四百餘戶になる幸ひな事にはタイヤル族がブヌン族のやうな

協同一致 の性質を有せぬことは理蕃の上に都合の好い事である。其上此種族は食料品の貯蓄が乏しいので、戰鬪ばかりやつてゐると一年間の生活を支へることが出來ぬ。彼等は各部族の間でも各蕃社の間でも互に交通してゐないのみか、部族間や蕃社間でも往々敵對して協力することがないのである。之に反して其隣に住するブヌン族は人口は八千五百位であるが勇氣に富んで協力の性質がある。一家族の人數も非常に多い。時には六十人乃至八十人も一家族として

一軒の家 に住んでゐる。彼等は三年間位は遊んで食へる程の穀物を貯藏してゐるし、且長時間の勞働に堪へる。新高山の登山に働力として彼等を雇へば一人で百五十斤から時には二百斤からの重荷を擔いで險阻な長距離の山地を平氣で步行く。女でさへ重荷を背負つて數十里を旅行する。實に驚くべき體力と根氣とを有する種族である。幸な事には此ブヌン族は今日では殆ど全く危險性を脱してゐる。萬一是れがタイヤル族のやうな獰猛性を有してゐたら理蕃事業の困難はどれ程であらうか想像も及び難いことである。ツオウ族は嘉義の東方に住してゐて今では全く從順になつてゐる。人口は二千三百位である。勿論他の種族との間には

折々闘爭 もやるらしいが、本島人や內地人に對しては頗る溫順である。パイワン族は臺南市と臺東とを繋いだ線から臺灣の南端に至る地域に住してゐて人口四萬一千であるが、今では是も比較的に從順になつてゐる。彼の明治七年の臺灣征伐はこの種族の爲に起つたのであるし、又此種族の爲に千人塚と稱するものが所々に築かれてあるのを見ると清朝時代には

隨分獰猛 であつたものらしい。アミ族は花蓮港から台東に至る東海岸に住して居て人口三萬五千を有するが、性質は至つて溫和で支那政府時代にも反抗した歴史は殆どない。生來極めて平和な蕃人である。紅頭嶼に住するヤミ族は一千六百位の人口であつて殆ど戰鬪といふことを知らぬ平和な種族である。鐵砲といふものは一挺もなく、首でも斬りさうな完全な刀は一本もない。紅頭嶼の蕃人が人を切つたとか切られたとかいふ話は曾て聞かないといふことである。

オトキバナシ　黄金の林檎【下】

京城西大門小學校尋四　森井弘一　吉田楚峰　補

お父さんは、けがをした足をひきずり／＼して漸く家に歸りました。こんどは藤作が身代りになつて山へ登りました。そしてわづか二十分位で黄金の林檎のある杉の木をさがし出しました。すぐのぼりかけると『コラ／＼』といふ聲がしたので後をふりかへつてみると、其所には、白ひげやくいの神樣が立つて居りました。

『木にのぼるのは、まて。黄金のりんごは、おれがやる』と云つて神樣は黄金のりんごを下さいました。藤作はそれを持つて家に歸りました。……といふ所でお父さんの夢はさめました

× × ×

あまりふしぎな夢なので、お父さんは朝起きるとすぐ、皆の者に話して聞かせました。すると藤作が『それでは私が、そのりんごをとつてまゐりませう』とお父さんのゆるしを受けて山へ行きました。杉の木にのぼらうとすると、不思議にも、神樣が現はれて

『このりんごをお前にやる』といつてほんとうの金のりんごを下さいました。喜んで家にもつて歸つて、八まん樣にあげると、間もなくお父さんは死んでしまいました。

藤作は大へんこまつて泣いてゐましたが、氣をとり直して、その晩はねました。

すると、まくら元にまた神樣が現はれて、汝の父の死んだのは、自分自身でりんごをとりに行かないからだ。汝は一つの手袋をこしらへて父の手にはめて見よ。さうすれば、きつと汝の父は生かへるであらう』とおつげがありました。

藤作は、その翌日から毎日／＼手袋をこしらへて、やつと一年目にこさへあげ、お父さんの手にはめると、どうでせう！死んでゐたお父さんはぱつちり目をあいて、くちびるはほんのりと赤みがさし、いきをふきかへしました。

それから後、お父さんは藤作のしんせつが、みにしみたのでせう、生れかわつた樣にりつぱな良い人になりました（をはり）

京管局社友會が 龍山に女學生の寄宿舍

を設けて家族的にお世話する　賄費十二三圓＝四月から實現

京管局社友會では近來女子の向學心の進展に伴ひ地方より修學する女學生漸增しつゝあるも相當な寄宿舍的公施設もなき爲め高等女學校若くは技藝學校に學ぶ

地方女學生 も特別な縁故者の許へ託するか或は汽車通學など不便少からず中には折角の向學心を相當寄宿舍設備なき爲め餘儀なく思ひ止まらしめるといふ現狀に鑑み來る新學期から社友會相談部の事業として之等地方より修學する女學生を確實なる監督の下に收容すべき寄宿舍を設置する事になつた、この計畫は地方社員の不便から既に數年來懸案になつた事で漸く機熟して今春四月から實現さるゝ運びに至つたのであるが、場所は建物の關係上龍山構內に於ける目下空家になつてゐる三十三號（元故吉城技師の社宅）の建物を以て之に宛てる事にし目下其設備を施しつゝあるが收容人員は地方社員の家族を主とし其の他一般女學生に亙り約四十名とすと

し高等女學校の女教師一名同宿して監督の任に當る筈だが何しろ女性ばかりの事なれば尚この上に京管局の

老社員夫婦 が家番に當り賄費も成るべく節約して凡そ十二三圓程度ですませると更に所轄女學校とも寄宿舍問題に惱んでゐる今日社友會のこの擧は其利便する處多かろふ

平和の祈禱會

・婦人矯風會京城支部が開催

危篤を傳へられてゐた矢島楫子女史の病狀に就て此程東京婦人矯風會本部より京城支部宛の通知によれば其後女史の容態は少しく持ちかへて目下静養中にあり繊ながら御見舞の一般有志婦人とて晝夜交代看護に努め居るも高齢の事故此の際萬一の事あるが不幸にして萬一の場合は矯風會の葬儀に附する事に決議した、而して同時に中央委員會の決議により來る十一日は全國矯風會員一致して萬國平和の祈禱會を開催する事に申合つたので之に付京城支部に於ても同日午後二時より旭町二丁目メソヂスト教會に於て萬國平和の祈禱會を開催す

堀內中將の令嬢も 下女と一緒になつて

臺所改善の講習を受ける

厨房の智識に乏しい日本婦人

【東京】女學校出の若い夫人はともかくとして一般の臺所を預かる婦人には厨房の智識が乏しく家庭の趣味に合つた調理が出來ぬ爲めに何事かある度に料理を取り寄せるこれが今日の物價騰貴時代では家計の負擔も實に少くない。この臺所を救濟するため神田三崎町の東京割烹女學校では女中さんの講習として家庭コック科を新設して開校したが志願の女中さんは三十五名に上つて居り中には府下高田町の鈴木三重吉氏のお女中さんも居れば海軍中將堀內三郎氏の令嬢静江子さんも講習の一人に交へてゐる。同校秋穗校長は語る

『斯うしてお女中さん方が割烹の知識を得られる御家庭に應じた趣味ある料理がお手輕に出來るので今日の不經濟な臺所を救濟する爲めにこの企てを致しました時間も家中の最も寸暇な一時から三時を選んでありますがお女中さんのみならず御夫人方の志願もかなり多く見えて居ります』

兒童學藝會 府內仁旺普通學校では十三日午前十一時より兒童學藝會を開催する由

京管局お伽會延期 讓渡京管局社友會のお伽講演會は十日午後六時より社友俱樂部で開催の筈であつたが社宅內に猩紅熱患者發生のため延期された

關釜連絡船

十日　朝、對馬丸　夕、博愛丸
十一日　朝、壹岐丸　夕、高麗丸
十二日　朝、對馬丸　夕、博愛丸

小說

題材　朝鮮の現代を描寫したもの（但し內地、滿洲、西比利亞、支那等に觸るゝを妨げず）
文體　口語體
回數　一回十六字詰百行內外、百五十回乃至二百回
賞金　一等　金一千圓
　　　二等　金五百圓
審查員　島崎藤村氏、杉森孝次郎氏、本間久雄氏（承諾順）
締切　大正十一年四月三十日

本社の二大懸賞

ポスター

精神　『融合融和と今日に於ける文化の發當なる相違と平和の中に融融して內鮮人相互の融融を增進すべき事』『朝鮮產業の發達の爲めに內地の資本家は競うて投資すべき事』其他朝鮮の平和、發達、生活の改善に資すべき事項
材料　カンバス畫紙にて大さは縱三尺乃至六尺、横二尺乃至四尺位（畫風は隨意）
賞金　一等　金二百圓
　　　二等　金百五十圓
　　　三等　金百圓（選外佳作七名に記念品贈呈）
審查員　石井柏亭氏、高木背水氏（承諾順）
締切　大正十一年二月二十日

演藝案內

松竹キネマ株式會社朝鮮總特約店　櫻井町　電話八七三　**大正館**

當る二月九日より三大名畫新提供　◎實寫『フロリダの海岸』　◎ニコ／＼漫畫『凸坊結婚の卷』最長尺

米國フオツクス社特作　名花シヤーレイ、メーソン孃主演

△悲劇 **曲馬團の處女** 全五卷

哀別離苦行く人も還る人も　大阪に於ける新派の寶　關根達發、栗島すみ子、三浦千代子實話

△新派大悲劇 **法の涙** 全六卷

老夫の猪之吉は世の無情と身の不幸とを歎き乳呑子と阿呆の子を連れて海岸に現れた夜は更け空に星のみ輝く頃靜かな水面に時ならぬ水音

◎松竹キネマ蒲田撮影特作映畫　◎東京名優澤村源之助丈主演

▲舊劇 **切られお富** 全四卷

世話女房に歸けては日本一との定評ある妙技の國寶源之助丈の最も得意な當り狂言　◎入場料特に普通

京城本町壹丁目　電話九七番　日活直營 **喜樂館**

當る二月十日より特別映畫上場　◎實寫パテー週報

日活東京撮影所第三部自力作　新派悲劇 **宇喜沈み** 全五卷

酒井米子、中山歌子、林幹、若葉かほる出演

彼女の背後には數十丈の斷崖でまた涙の樣

米國ホドキンソン社作品

文藝映畫 **性** 全七卷

名花ルイズ・グローム嬢主演

アマリー・リヴイングストン氏　ウイリアム・コンクリン氏出演

日活京都撮影所新規特別撮影大映畫

尾上松之助主演 **眞田と猿飛** 全五卷

今迄のありふれた忍術劇にあらず光の變つた面白い忍術劇　一騎當千の荒武者揃いは山太郎延一郎に依つて大活躍

永樂町一丁目　商品陳列所前　電話三〇一四番 **中央館**

當る二月九日より特撰映畫　◎實寫巴里のスケッチ　◎滑稽一座の蔭影

◎新派 **春雨草紙** 全五卷

絲の如き春雨のしと／＼と降る夜ひそやかな窓の內戀に惱む青年男女何を語るか

米國パテー社作　◎活劇 **濤に咲く花** 全五卷

ア、リーア、ベアード孃主演　アーサー、ベック氏脚色

渺々際限なき青海原白波蹴つて進みゆくシ號の甲板上に血雨降り

○舊劇 **明烏夢泡雪** 全五卷

キネ東京派撮影　三代將軍家光公日光社參の途中殺害せんと計る最上出羽守遊佐浦野の密謀を旗本三勇士の活躍に德川三代の礎を固むといふ

株式會社日活聯盟 **京龍館** 電話三一番

○當る二月十日より向四日間提供特別大興行

○近代のメキシコ

○寫活劇

上松之助御前間遺の間違

尾松之助御前間遺

○教訓劇 **小楠公** 最長尺

大正十一年の今秋有の光榮ある映畫　ビヴアリ、ベーヌ嬢出演　優しくも勇ましき光榮ある四條畷の戰を間近に

○新派悲劇 **連なる縁** 全五卷

純な村の乙女が金持に富よりも慈愛なる夫の後半生と幸福なる後半生

○實錄 **山崇禪寺馬場** 全五卷

生田傳八郞を討たんとして返り討ちに遇ひし安藤兄弟の悲壯なる事實

○新派悲劇 **小町茶屋** 全五卷

實人薄命の嘆へに洩れず浮世の波と戀苦の籠果敢なき人生のドン底に

洋畫專門　黃金町　電話二六三七 **三友俱樂部**

當る二月六日より新寫眞　◎實寫　エ社週報　◎喜劇 セレクト社作品　フラ／＼島　全二卷

△人情劇 **購へる貞操** 全六卷　ノルマタルマッヂ孃　ユージンオブリエン氏共演

△史劇 **戀のサルタン** 全六卷

回教國の一地方に三つの國境を持つた其一國のソルタンはマリクと云ふ極惡非道の君である同じ樣な最愛なる部下カドジヤーに二人の勇士を附けて或る者の探險に出かけさせた

△連續活劇 **無敵エルモ** 第十二篇第十三篇　第十二篇大驚戰、第十三篇大團圓　メリー・マクラレン孃出演

△社會劇 **踊子となりて** 全五卷

ヴアージニアの商家バットラー家も今は落魄して貧乏してゐる當主の娘ツキイは貧しい生活に堪へかね富豪と結婚する目的で紐育ブロードウエイの歌唱いとなる顚は是より

當る九日より特撰 **拔群の四大映畫**

新派 **戀時雨** 全五卷

攝政殿下 賜御台覽之榮 **楠公櫻井之訣別** 長尺　尾上松之助以下出演

世界的奇術家ベニー・レッナード氏活躍

連續怪奇活劇 **怪眼鬼** 全十五篇三十一卷　第一回第二篇　百萬弗の秘密　怪眼鬼の家

松之助十八番劇　俠男 **花川戶助六** 全六卷　見るからに痛快なる男性劇

京城本町　日活直營 **喜樂館** 電話五九七番

電話七八五番 **壽館**

二月八日より第二京劇喜樂會一行　テ開演　晝夜

第一、オーライ　第二、京の遺言　第三、喜劇　小說　第四、…

入場料　特等…　一等…　二等…　三等…

本町五丁目 **浪花座**

二月十一日より　京龍 **安來節大會**

御當所有志披露　入場料三十錢　午後五時開演

▲李王職御用　▲鐵道病院御用

模範 **全乳**

東亞牧場　大正塚肥料間直營場　（電話二五二番）

支店開設

京城長谷川町商會前

御料理 **戶澤商店**

建築材料　電話九八四番　振替

京城本町二丁目

本町支店 電話一四七

今回戶張商店本町支店ヲ讓受ケ從前ノ通リ營業候間舊倍ノ御引立御用命ノ程願上候

腺病質に卓効ある‼

正しき補血强壯增進劑

ヨードブルトーゼ

栗本醫學博士　齋藤醫學博士　增山醫學博士　土田醫學博士　諏訪醫學博士　其他醫學諸大家　實驗御推獎

本劑の効用

補血强壯劑界の泰斗として醫學諸大家の推獎せられつゝあるブルトーゼに解凝劑ヨードを結合せしめたる芳香佳味の液劑にして人體肝臟中に含まるゝ鐵蛋白質と同一の性狀を有し吸收同化容易にして赤血球を增加し新陳代謝を旺盛ならしむるを以て本劑服用後は食慾を促進し體重を增加し精力を附與し皮膚の色澤を良くす故に鐵とヨードとの共働を要する場合即ち腺病的健病及之に基ける小兒の成長障害貧血症黴毒其他總て貧血症營養不良虛弱衰弱病後恢復期に用ふれば衰弱を恢復し體質を刷新し筋力を强實ならしめ生活作用を調整し全身狀態を改善せしむ

種類及賣價

補血强壯增進劑 ブルトーゼ　小瓶金三…　大瓶金三…
神經性疾患特効劑 アルゼンブルトーゼ　小瓶金二…　大瓶金三…
腺病質特効劑 ヨードブルトーゼ　小瓶金二…　大瓶金三…
呼吸器系疾患特効劑 グアヤコールブルトーゼ　小瓶金三…　大瓶金五…
健胃補血强壯劑 キナブルトーゼ　小瓶金二…　大瓶金三…

各種共小瓶二五〇グラム入大瓶五〇〇グラム入　本劑は各地藥店に販賣す萬一品切の節は直接本舖へ御注文を乞ふ

說明書實驗錄進呈

發賣元　藤澤友吉商店

大阪東區道修町　東京日本橋區本町　京城府黃金町…

振替貯金口座　大阪…番　東京…番　臺灣…番

釜山水產株式會社新株式募集

當會社現在資本金參拾五萬圓の處第廿九回定時株主總會の決議に依り之を貳百萬圓に增加し增加資本參百參千株中八千五百株はプレミアム附にて公募致候間左記御承知の上御申込相成度候也

大正十一年二月　釜山水產株式會社

公募要項

一、公募金額　金四拾貳萬五千圓
一、公募株數　八千五百株
一、壹株の金額　金五拾圓
一、申込價額　額面以上（但圓位未滿の端數を附せさること額面以上の金額は第一回拂込株金と同時に拂込のこと）
一、申込株數單位　拾株
一、申込證據金　壹株に付金五圓
一、申込期間　大正十一年二月十五日より同月二十八日迄（但期日前に申込みたる場合は期日迄到達したるものを以て締切る）
一、募入決定方法　申込價額の最高より順次募入し同價格のもの募集株數に超過したるときは當會社に於て適宜募入を決定す
一、第一回拂込金　壹株に付金拾貳圓五拾錢（證據金充當）
一、第一回拂込期日　大正十一年三月十日より同月二十日迄

株式申込取扱所（申込用紙等は各申込取扱所へ御請求被下度候）

釜山　第一銀行支店　百三十銀行支店　殖產銀行支店　十八銀行支店　釜山商業銀行　京城第一銀行

鯨飲！斗酒を傾くるも　痛飲！夜を徹するも　我「シンテン」は　醇良にして　衛生無害也

仁川府桃山町

朝日釀造株式會社

悲風梢頭に咽ぶの日 英靈とこしなへに眠る

日比谷原頭の一大盛典 顯官名士雲の如く集る 元勳山縣公の國葬

隈侯を葬送して悲風猶ほ梢頭にむせぶ日比谷原頭に於て今日は又國家の元勳を送る日が來た二月九日は實に公爵山縣有朋氏の國葬日である

靈柩は一個師團の儀仗兵に護られ護國寺の墓地に送られた塋域の上に新しき墓標の樹てられたのは午後五時過ぎまだ若々しき貞子の切髪姿が參列者の眼をひいた【東京電報】

藏相官邸の發柩祭 緣故の深い小田町青年團が 靈柩を舁いて齋場へ

椿山莊の靈柩は手狹な爲め藏相官邸に移されて居たので同邸では此日午前七時半田副齋主に依つて嚴肅な發柩祭を執行した參列者は續々として八時半までに集まり一等以上の參列者は藏相官邸に其他は永田町小學校に控へたが服裝は總て禮裝とて威儀整然たるものであつた靈柩は午前九時小田原町の青年百四十名に依り舁がれ名和有馬各將軍の棺側者に護られ喪主伊三郎氏愛姿貞子等相續後して靈柩につゞく

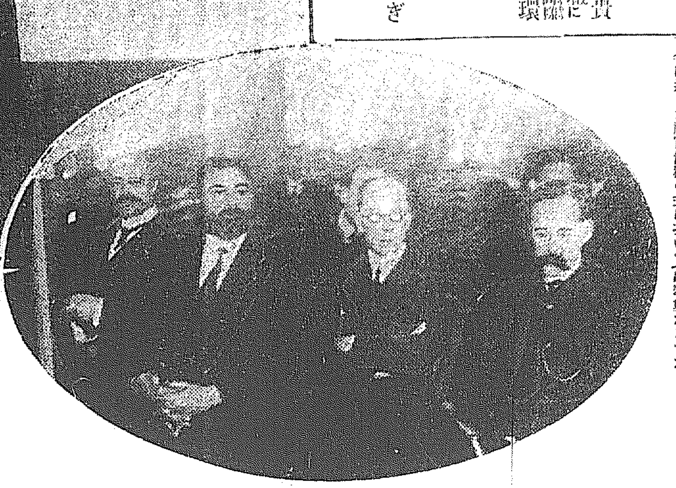
弔砲殷々として 哀み一入深し

特に人目を惹いた ジョッフル元帥の花環

齋場に着したのは午前十時其所には朝野の紳官貴紳雲集して靜然として靈柩を迎へた靈柩が齋場に安置されるのを機會に十九發の弔砲が轟り響き海軍も品川灣で同じく十九發の弔砲を發したジョッフル元帥の贈つた花環が靈柩の前に特に目立つ

護國寺の墓地へ 午後五時埋葬全く終る

斯くて勅使御使等の參拜あり喪主以下の拜禮あつて正午過ぎ



京城の山縣公哀悼式 （上）吉松府尹の弔詞朗讀（下）參列の外國領事團

公會堂の哀悼式 參集の官民五百餘名 堂内哀愁の氣に滿つ

京城府の故山縣公哀悼式は國葬當日の九日午前十一時より京城公會堂で擧行せられた當日は早朝から齋場を淨め正面祭壇には故公爵の大寫眞を安置し紅白の幕を垂らした傍側、總督閣下以下の官民より寄贈の大榊二十餘個が飾られ參列員は定刻迄に五百名に達した神官修祓の式に次いで齋主一同着席後[illegible]の裡に降神の儀あつて神饌を奏し京城神社[illegible]宮司祭詞を奏し京城哀悼會を代表して吉松府尹、山口縣人總代竹我勉氏が悼詞を朗讀し[illegible]堂内哀愁の氣に滿つ、吉松府尹から哀悼會の名を以て山縣家へ弔電を發送した旨披露あり終つて左の順序に玉串奉奠があつた

總督總監代理伊藤秘書官、朝鮮貴族代表、李完用侯、高等官代表松永外事課長、軍司令部側安滿參謀各國代表者は英米佛支露の各總領事各會社銀行代表者其他一般右にて撤饌昇神式後[illegible]に正午式を閉じた

弔電

公爵閣下の薨去を悼む茲に府民相會して哀悼式を行ひ恭しく弔意を表す。山縣公哀悼式發起人總代

香椎神宮 御參拜 下檢分 宮内官出張

聖上御不例につき皇后陛下には御快念の爲め御平癒御祈願のため三月香椎神宮に御參拜の筈あらせらるゝ事は既報の如くであるが之に關する萬端調査の爲め本月下旬宮内事務官來縣の筈陛下の御假泊所は福岡縣廳に内定されたり（福岡電報）

遭難者へ 御下賜金 一千五百圓

本月三日北陸線遭難の慘事は不祥聞に於て驚かの爲め多數の死傷者を出したる 聖上陛下にも深く御軫念あらせられ天皇皇后兩陛下より遭難者救恤として八日金一千五百圓下賜の御沙汰あり元田鐵相は午前十一時宮内省に出頭し牧野宮相より拜受の上退出した（東京電報）

侍從御差遣か 攝政宮から

北陸線遭難の慘狀に就き元田鐵相は五日攝政宮殿下に伺候し詳細奏上した所殿下には甚だしく御軫念あらせられ近く侍從を御差遣あらせらるゝと拜聞す（東京電報）

ジョ元帥 桃山御陵へ

六日夜入洛京都ホテルに投じたるジョッフル元帥は七日午後一時半自動車にて桃山御陵に參拜白百合水仙花壇等にて造られたる大花輪を神前に供へ恭しく禮拜した（京都電報）

落下傘 練習 追濱飛行場で

追濱海軍飛行場では本月中旬より服部中尉以下五名決死の覺悟にてパラシウト（落下傘）練習に着手する筈である（東京電報）

西園寺公震ひ上る 興津の別邸へ猛烈な 脅迫狀が舞込んだ

興津町の別邸に謹慎中なる西園寺公の許へ六日脅迫すべき猛烈なる不穩文書舞込み一家震ひ上がつて其筋に警戒を依頼した同縣警察部よりは直に増田警部以下數名出張警戒に努め一方汽車にて往復する無頼漢の行動に細心の注意を拂つて居る不穩文書の内容は固く秘密に附されて居るので判明せぬ【靜岡電報】

朝鮮に來た 蘆花さん

私は文壇の除け者だ と云ひながら文壇の現狀を語る 昔の愛人も一緒

小說『不如歸』や『思ひ出の記』の著者として其昔日本文壇の人氣を一身に集めた蘆花德富健次郎氏は七日朝入港の新羅丸から愛子夫人と共に突然姿を現はした、此の突然の珍客を十時發特急列車の一等室に訪へば快よく迎へられた、氏が三十歳の頃記者達を煙に捲いた時代は全然別人の様で圭角のとれた

好々爺 になつて居る、傍らの夫人は小柄なタイプに洋裝金色燦たる飾りが胸間に輝いてるのが眼立つて見える、此夫人こそ曾て『思ひ出の記』に現はれた愛人俊子さんなのである蘆花氏は窓外の雨景を懷かしそうに眺めながら『今度の渡鮮は丁度

十年振 です、釜山も大變に變りましたね、朝鮮へは研究旁々是非來よう來ようと思ひながらツイ其機會がなかつたのです、今度は娘の兄に當る鞍山の原田良八氏が病氣なので其見舞に行くのですが、三四日滯在して直に引返す豫定です』氏は又微笑を含んで『千歳村も以前は

靜かな 所でしたが今では別莊、住宅、工場などが出來それに興論の病院まで移轉して來ましたので汽笛の音も聞えるやうになりました千歳村も東京市に編入さるゝ事となり私等二人も大東京市の住人となつた譯です千歳村は

野菜は 好く出來ますよ……』と小說の傍へ土臭をいぢつて居る蘆花氏の生活の匂ひがする話は段々進行して現今の文壇に及ぶ『私は最う日本文壇からは除け者にされましたよ……目下の文壇は私の見る處では……行くべき道を行きつゝある……と云つてよい數年前高唱された自然主義は實に好いことを吾々に教へた、虛から實へ、不自然から自然へと時代は一變して來た

其好例 には何時ぞや雜誌に掲載された石原阿佐緒さんとのラブで知られた石原博士から私へ宛てトルストイとアインスターイン兩氏の肖像を並べた寫眞を送つて來たが私は之を面白いコントラストだと思つて眺めた、ト氏は見るからに邪氣な風手の持主であるのに反しア氏は極めて圓満な

快活な 氣持ちである、トルストイズムは既に去つて今やアインスターイン高唱の時代となつた今の人達は丁度斯んなもので あらう、不自然から自然へ、醜より[illegible]現代の人々は躍るが如く舞ふが如くに嬉々として總ての物を

愉快化 してしまつた、此のスピリットは總て日本を支配するやうになつた……』談は更に日鮮問題、日米問題に及び自著『日本から日本へ』の評は如何です？偽りのない處を聞かして貰ひたいと鋭く逆襲の矛が向けられた時發車のベルが鳴り響いた（釜山）

血の研究で 醫博になる 總督府醫院の渡邊醫官

新醫學博士の榮冠を贏ち得べく内定した總督府醫院皮膚科の渡邊醫官氏を訪ふて先づ『お芽出度う』と祝意を述ぶれば『いや未だ確定した譯ぢやありません

公式 の通知には接してゐませんが新年の教授會で滿場一致を以て可決されたとの通知があつたのみです』と謙遜する、それでも流石に會心の微笑をもらし語る

權威 土肥教授の膝下に五ヶ年間研鑽を重ね大正二年朝鮮總督府醫院に赴任し皮膚科に於て其蘊蓄を振つて居る大正七年九月から同九年五月まで米國、瑞西等に學び獨逸、伊太利を經て歸國し益々該科の研究に沒頭し先般一大論文を東大に提出して今回の榮譽を贏つたのである、論文の大要は『人血清と移植加入血漿との補體、抗體比較研究』で其

主旨 は人體の血清は人體の生活、疾病、診斷及治療の方面に於て多大の役目を持つて居るものであるが血漿と云ふは人體外に取出した後に變化して血清となるので生活體内の血管を循環してゐる時には血漿と云ふ形で存在して居る[illegible]

研究 がなかつたのであるが其内で血球溶解性補體と二三の抗體とに就て其分量を血清と血漿とに就いて比較研究し是等のものは人體内に存在して居る時の方が幾分強くて體外に出で、血清に化すれば幾分其能力が減弱するものであることを確めた次第であると

希望と光明に憧れた 千五百の聽衆 本社の石龍師講演會 三時間に亘る長廣舌

本社主催の石龍師の講演會は八日夜六時から長谷川町京城公會堂に開催された、[illegible]は近時[illegible]の權威として認められ世人の注意を[illegible]になつたので定刻までに這入つて聽衆一千五百名に達し[illegible]

石龍師講演會 今度は龍山で開催

日時 十日午後七時より

會場 滿鐵社友會々場

主催 滿鐵社友會

後援 京城日報社

露國文豪 四月頃に來朝

敦賀よりの報道に依れば露國文豪ダンチェンコ氏は嘗て戰線の巷より君府に避難して居たが來る四月日本文學研究を兼ね來朝すると氏の作品中最も著名なるは日露戰爭の從軍記『戰爭の一年』其の他『イスパニア雜記』等である（東京電報）

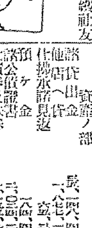
天然痘 蔓延の兆

府内[illegible]三十一日發病し八日午前二時天然痘と[illegible]九日午後一時より近親者に大々的種痘を行つた府内の天然痘は漸く蔓延の兆がある

歡迎琵琶會

府内南山町筑前琵琶旭會では女流琵琶家の明星と謳はれたる[illegible]女史が今回朝鮮地方に漫遊中の[illegible]女史と同時に北鮮より入京したるを機とし十一日午後五時より長谷川町公會堂に於て歡迎琵琶會を開催する由主なる曲目左の如し

寄館の浮草劇



諸館開演中の浮草劇一派は[illegible]八日から本紙小說『浮草』劇を上場好評を博した八日は演出上多少不完全な處もあつたが日を經るに從つて完全を期する事が出來やうと云ふ役割左の如し

宮崎良雄（吉田香樂）頼兼太郎（住友三重樂）大村昌平（吉村京樂）女中村政（長谷川茶樂）大工松吉（本吉樂）左官伸太（金澤安樂）皆子（三見若丁）道代（原とも子）河村畯一郎、良吉二役（森田信樂）

▲京樂館 九日より寫眞全部取替實寫小動物の曲藝、ニコニコ活劇チヤプリンの消防夫（二卷）新派悲劇『蓮時雨』（五卷）連續怪奇活劇怪賊鬼楠公楠井之訣別、花川戶助六（六公卷）等で楠公櫻井の別れは攝政宮御覽の榮を賜つたものである

▲京龍館 九日から新映畫と差替攝政宮殿下臺覽の教育劇小楠公を始め人情新劇連なる絲（五卷）新派悲劇小町茶屋（五卷）舊劇紫禪寺馬場仇討（全七卷） 等がある

けふのメモ（十日）

金曜（己四）（友引）（舊暦一月十四日）初めて瓦斯を[illegible]（西暦一八三五年）

▲農業技手打合會 京畿道廳

▲石龍師講演會 午後七時滿鐵社友會

全鮮唯一の避寒地

東萊溫泉 蓬萊館

稀有の[illegible]南海[illegible]溫泉は[illegible]

蓬萊館

運動界

スケート大會 十一日に擧行

本年度のスケート季節に入つても京城は非常に振はない憾みがあつたが今回仁川新報主催のもとに十一日紀元節を卜し漢江人道橋下に於て午前十時よりスケート大會を開催し大いに斯道發展の實を擧げる由である

鳴鶴翁の遺墨 展覽會開催

衣川（法號山村旭江）▲寶盛（安藤旭瀧）▲橋中佐、隅田川（法道島旭堡）▲旭の光（五絃合奏）外十數曲

來る十二日（第二日曜）午前十時より午後四時まで諸町倶樂部に於て門人及諸雜會同人主唱にて開催しいふ鶴翁好者所藏の遺墨を一般觀覽に供すると當日同倶樂部へ申込めば喜んで陳列すると

機關車 顚覆す 三名重傷を負ふ

嘉義阿里山鐵道に於いて七日午後三時半上り貨物列車が嘉義驛を距る九哩の地點にて機關車顚覆し乘務機關手火夫の三名重傷を負ひ汽罐手は生命危篤に陷つた同所は昨年三月貨車脫線し即死三名負傷八名を出した處である【臺灣電報】

坪田代議士召喚さる

鳩山一郎氏の毆打事件に關き檢事局にては八日坪田代議士に出頭すべき旨[illegible]

公金を費消して 逃避の屆出

【新義州】平北楚山郡[illegible]

皆勤證授與式

[illegible]

（右端欄）

[illegible]丸は八日同[illegible]を[illegible]して[illegible]鎭火した（東京電報）

安東縣 安東民團役所[illegible]安東地方事務所の[illegible]

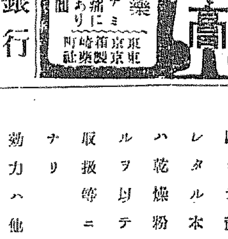
純日に感激して 積善碑を建設 【全州】益山郡五山面木川里農李[illegible]二升五合宛を施與したる[illegible]里民は同[illegible]たので李氏は之が救濟の意味で一月廿四日同里部民六十餘戶に對し白米[illegible]氏の殉難を深く感じ木川浦より[illegible]

告在鄉軍人 二月十二日午前十時大和町[illegible]紀元節[illegible]帝國在鄉軍人會 京城分會

藤製 萬年筆 販賣 京城南大門内 荒川商店

赤鼻 アカハナ 如何程困難の方も能く治る 森末[illegible]院

はねくさり キラズ 注射の世話なく 長壽園製藥所



仁川山手町 料亭 銀水

株式會社 十八銀行 營業報告

[illegible]	[illegible]

株式會社 十八銀行 長崎市[illegible]

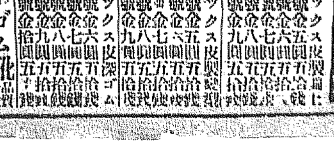
屎尿完全肥料

都市衞生ニ貢獻シテ産出サレタル本肥料ハ乾燥粉末ナルヲ以テ運搬取扱等ニ便利ナリ 効力ハ他肥料ニ比シ數倍シ價格ハ豆粕等ニ比シ三四割安シ 詳細ノ說明書ハ申越次第發送ス

發賣元 志岐組 衞生肥料部 京城日之出町十三 電三〇五番 工場大連市外北崗子來家屯 志岐組衞生肥料工場 電二九四〇番

京日案内

安心の出來る靴 日野製靴店



上田寫眞機店出張店

講談

小金井芦洲講演

第二二二席

淺山三五郎一傳齋先生伴五郎の物語りを聞いて共に涙を流し『ウムさ樣か、その水上六太夫如き者の爲めに天下の名人蠍龍軒を亡くしたのは實に殘念千萬……』此時長谷川が『サテ伴五郎殿、近頃私が承はりまするに四國丸龜の生駒家に今度お召し抱になつた浪人がございますさうで、此者は矢張り野州鹿山邊の浪人にして古今の大力無双、弓術なども揃々能く出來るさうでございます、御貴殿も是れから讃岐の丸龜へ往つて御數あそばしては如何でござる』伴『ヤそれは千萬忝ない能い事を承はつた、然らば讃州丸龜へ參つて容子を見るでござらう』と茲で淺山三五郎一傳齋先生にも別れを告げて唯一人四國へ渡り讃州丸龜の御城下へと乘り込んで來る、此の長谷川といふ賊の頭をいたして居つた奴は淺山先生のお弟子でありましたが、性粗暴にして無暗に人を叱罵をして殺傷にお師匠さんの處にも居難くなつて飛出て終つた、夫れから彼方此方と物騒歩いてゐるうちに、野伏盗賊は武士の懷ひかど、噂らないところへ理窟を附けて遂に山賊の頭になつてしまつた、計らずもお師匠に逢つて今更醜體次第もなく縷々と叱責をされて改心をいたし五人の小賊共に幾らかの金錢を遣はし　長『モウ乃公も神妙に努めて改心をした、向後決して惡い事はしない、お前達も此の金で何うか正業に就いて見れ』と意見をして放して遣つた、で伴五郎が讃州丸龜へ參ると云つて別れを告げた時、長谷川が『此の山賊を此の儘にして置けば再び惡い奴が據つて巢を構へぬものでもない、砦を燒捨て終はう』といふので淺山と山寨を燒捨て終つて、再び淺山先生に就いて武術の修業をする事となつた。伴五郎は丸龜の城下へ飛込んで來て水上六太夫の容子を聞くと、何うやら長谷川の云ふ通り、飯櫃の水上六太夫らしい、此の水上六太夫といふ者が何で生駒家へお召抱になつたかといふと、何しろ江戶表名代の柔術の名人瀧川蠍龍軒を殺して立退いたのだ、何處へ往つても蠍龍軒の名前は響いて居る、水上六太夫と云ふ奴は懷中は暖かい奴ではあるが、甚だ臆病ではない、蠍龍軒を殺してから、自分の身が危ないと思ふから諸國を廻り廻つて讃岐の國丸龜の御城下へ遣入つて來て、若林膳太兵衛と云ふ旅籠屋へ宿きました、斯う云ふ懷中は暖かい奴であるから、茶代なぞ澤山やるし、女中などにも祝儀をウンと遣る、六『ヤハッく、ア亭主、拙者が茶代を外の客よりも餘分遣はしたからと申して強ちに禮を云ふには及ばんぞ、拙者は諸國を歩いて武術の修業をいたして居るものだが、當生駒の城下にも相當の劍客者は居るか、……フン居ないだらう、拙者等は何處の道場へ參つても負けて一度も敗を取つた事がない、修行は積んでゐるし、力は有るし古今の大豪傑だ、先年狒熊山に於て天狗を一瞬時に踏み倒いて虎を踏み殺した　亭『ウヘー……何うも大したお腕でございます、エ、狒熊山に虎が居りましたか　六『アゝ居つたよ、唯ッた一疋ゐた、拙者が踏み殺して終つたから、モウ日本國中には一疋もゐない　亭『ヘー、御道にございますか　六『就ては亭主、拙者は此の城下へ遣入つて來のは始めてゝ分らんが、何か城下に祭りでもあるのか、大層家每に人が集まつて騷々いたしてゐるやうだが、何か総ひ事でもあるのか、はた間違ひでも出來たのか　亭『否へモウ何ういたしましてお祭りや賑やか間違ひではないんでございます　六『然らば何んだ　亭『エ、半分に二度宛御領主様がお狩獵といふ事をあそばします、毎年〳〵二度でございます尤も年に二度宛お狩獵を遊ばさるもの、百姓ではお手賃の取立てが甚かだし、町人では御運上の上げ方がお少いので、それに就てお狩獵の時御領民は戶每に一人宛人夫を出すのでございます』

牧師次使用新藥
內科小兒科皮膚花柳科
永樂醫院
院長　今村純義
京城永樂町二ノ七　西本願寺前　電話一九四四番

家庭療法

白髮に効く鷄の粘液

俗に白髮といつて小兒の頭などに雲脂のやうな白い斑點が出來て次第に毛の脱ける皮膚病があります、之を癒す簡便な方法は鷄の生なのを捉へて、そのぬら〳〵（つる〳〵した液）を塗擦すると大抵のものは全癒するものです、極めて手輕のかゝらないことですから斯うした場合には是非試みて御覧なさい

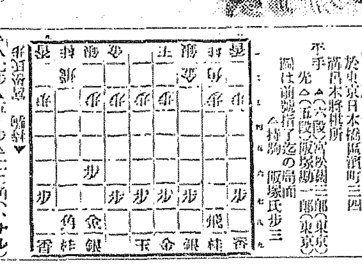
皮膚科（診察夜九時迄）
皮膚　黴毒　病（入院隨意）
京城明治町一丁目　佐藤醫院　電話一〇七参

將棋新手合（二）

於東京日本橋區濱町三四　新昌本將棋所

平手
△（六段）高橋卯三郎（東京）
先▲（五段）阪塚謙一郎（東京）

圖は前號指了迄の局面　△持駒　阪塚氏歩三



次指手（續）
△八七步　▲五一步　△三二角（ナル）　▲同銀　△八八銀　▲六二銀　△四八銀　▲三三銀　△七七銀　▲五二金　△四六步　▲五五步　△三六步　▲四四步　△四七銀　▲四三金右　△六八玉　▲五四銀　△三七桂　▲三三銀（以下次號）

講評（木七段講評）
△（八）三三角の交換は手損に見ゆれども此の局面にては交換して損せず方穩なり

京城明治町一丁目
犬猫牛豚　小川家畜醫院　取次電話三三五番

二月十一日

（舊曆正月十五日）▲土曜日 ▲庚戌 ▲八白 ▲晴 ▲紀元節

▼八白▲如何焦慮つても効果なく油斷なり難き日遠方への旅行は見合せ
▼九紫▲引込思案の生じ易き日大に元氣を出して働けば存外利得がある
▼一白▲人の言に從つて進退する時は不測の禍ひを招く世話事一切禁物
▼二黑▲無事に過ぎて張合拔けする日常の事は妨げなきも新事は見合せ
▼三碧▲内にも外にも離れ多く油斷できぬ日新しい取引は見合するが利
▼四綠▲氣ばかり急いても物事捗り難く騷擾大破れを來す小兒衛生注意
▼五黄▲概して順調の日なれども午後は諸事手控へて利嘴噂口論を慎む
▼六白▲諸事期待に背かず至極順調に運ぶべく進むほど大利を占める日
▼七赤▲運氣盛大の日何事にも逡巡はず進取的行動に出でゝ吉祥人來る

瀕死の病體を回復させた驚くべき科學的發見

坪井工學博士談

◆發見の動機　人が老衰したり、いろ〳〵な病氣となるのは人體の細胞中にあるプラスマといふものが破損するからである。それでこのプラスマを補つてゆけば病氣もせねば老衰もせぬといふことを、二十年ほど以前に露國の一醫師の説として知つたことがあります。しかしプラスマをどうして補給するかといふことは説明してありませんでした。このとき私は『これは大そう面白い説だから、一つ發見にとりかゝつて見よう』と思ひました。その後、私の健康が著しく衰へて來ました。それに腦の方も大そう悪くなり、その上視力が衰へて今さちがつて大きい活字の新聞紙さへも、よほど明るいところに出なければ讀めぬといふ有樣になりました。又一方では腦神經に罹つて、腹部は常に痛みをもつてゐました。その上に子供の時からの喘息は年と共にます〳〵ひどくなり、恰も病氣の問屋みたやうな體となつてしまひました。このまゝではとても將來は長くないと、自分も覺悟をきめましたがこのとき不圖、私の頭に思ひ浮んだのは、先年發見を志したところのプラスマの補給方法であります。さきには人の爲にといふ希望であつたのが、今では自分のために焦眉の急を要する問題となりました。それで病氣中とは申せ、元來かうした發明事に興味をもつた私はその後寢食を忘れてその事の發見にかゝりました。

◆自ら實驗す　何を申しても暗夜に物をさぐるやうに、何一つ手がゝりのない中を、あれかこれかと研究してをるうちに、ある一つの具體的の事を發見しました。これならはきつとプラスマの補給に効果があるに違ひないと思ひました。それで早速それを自分の體に服用して見ました。先づこの發見劑が、どういふ風に、私の體に反應を示したかといふに、私がこれを用ひはじめてから僅か四五日位で、何となしに體全體に活氣を生じて來たのを覺えました。しかしいまだ現に狎つてゐるところの腦は、何者かゝ一ぱいに充滿したやうに一種の強い壓迫を感じました。それから腹も一ぱい物がおし詰つたやうで、今にもはち切れさうな感じがしました。しかし體全體としては何となしに良きやうであるので腦と腹とに現れたこれだけの徴候で止してしまふ氣にもなりませんでした。やはり引き續いて服用してゐるうちに、腦の壓迫も薄らぎ、腹の張氣も除てゆきました。

◆蘇生の喜び　それと同時に腦は一時に輕くなつて、今まで重い笠のやうなものを冠つてゐたのが急にとり去られたかのやうに感じました。腹も便通が多くなると共に痛みも去り、急に輕くなつたやうで、未だ甞て經驗せぬ快よさでありました。かういふ有様ア著しい効果を示して來たので、私は喜びに堪へませんでした。その後腦の方はどうなつたかといふに殆ど全く失はれてゐた記憶力は再び回復して、子供時代よりも盛んになりました。かうして健全な腦をもつやうになつたのは殆ど三十年振りのことで、私は大學の房韻門時代に重い腦病にかかつてからといふものは、そのためにどんなに苦しんで來たことかわからないのであります。その苦しみが殆ど一朝にしてなくなつたわけで、蘇生に等しい喜びをしたのも無理はないことであります。私はこの發見劑を『活力素』と命名しました。

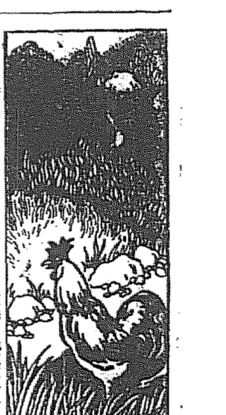
◆六十歳の青年　また私は子供のときから齒が弱くて、殊に年をとつてからといふものは一層ひどくなり、齒槽膿漏へも使はれぬやうに痛んでゐたのが『活力素』を用ひはじめてから丈夫な齒に變つてしまひました。子供のときからの持病の一つで、年をとると共にだん〳〵ひどくなつてゐた喘息も、いつとはなしによくなりました。偶に咳をすることがあつても以前のやうな息の根もとまるまでに咳き入るといふことはなくなりました。病氣のために血行が惡かつたのでせう。冬になれば耳には凍傷ができ、足には皸が出來てゐました。それほどですから冬になれば指先などは冷くて困つてゐました。それが不思議にも『活力素』を用ひはじめた年の冬から、凍傷も、皸もできないやうになりました。そして水で手を洗つても冷いと感じないだけでなく、水で洗つた手から湯氣がポッポと立つやうになりました。かうして三四年ばかりの後、私の身體は全く改造されてしまひました。病氣の當時でも脂肪肥りで十六貫位はありましたが、それが今日では肉がしまつて十八貫以上に達しました。皮膚の色なども、六十歳に近い今日でも、二十歳位の青年と少しも變らぬ位に艶々してゐます。精力元氣も青年のそれに決して劣らぬと信じてゐます。

◆人體の生命素　老人とか病人とかの身體を試驗して見ると、その細胞中にプラスマはほんの僅かしかないのであります。ところが死人はどうかといふに、死體には全くプラスマはないのであります。して見ればプラスマが人體の生命素であることがわかりませう。さてこれを證據立てるに適當な實驗を、この春私は自らしたのであります。私がふとしたことから、可なりひどい肋膜炎を病ひ、熱も高ければ水もたまりました。醫者にかゝれば絶對に安靜にせねばと、やかましくいはれるところを、私は例の『活力素』を服みながら、學校の講義には缺かさず出席して、歸れば床につくやうにしました。このあひだ熱のために夜は思ふやうに眠れなかつたけれども、營養は少しも衰へませんのでした。また私の子供が先年腸チブス見たやうな病氣にかゝつたとき、醫者は腸チブスの手當をして絶對に何にも與へてはならぬといひましたが、本人がお露司を食べたいといふので、食べたがるものならやつて見やうと思ひ、一人前與へたらそれを食べてしまつてまた與れといふので、更に半人前與へました。

◆大病にも衰弱せぬ　翌日醫者が來たので其のことを話すと『そんな亂暴なことをして貰つては困る。しかし患者に少しの影響のないのが不思議です。それにこの高熱に少しも、營養の衰へないのはどうした譯だらう』と、醫者はしきりに不審がつてゐました。けれど、子供が『活力素』を服んでゐるために營養の衰へぬことを知つてゐるので、別に不思議とも思ひませんでした。かくしてお露司を食べた翌日、子供はじつと床についてゐることができないで、外に出て遊びました、病氣はこんなに無造作に治りましたが、醫者が重く診斷てゐたにたがはず重い腸病であつたことは、その冬になつてから髮の毛が束になつて脱けたことによつてわかりました。かういふ大病に際して、長いあひだ絶食してゐても營養が少しも衰へないのは、前にも申したやうに『活力素』によつてプラスマの補給を計つてゐたからであります。食慾の少しもない肺結核の人達が、この『活力素』を用ひ始めたために、僅か一週間位で驚くほど營養狀態がよくなつたといふ例なども決して少くないのであります。

◆世に勸める理由　私は十二年のころでしたが、その後私の家庭をはじめ知人の間に勸めて見ました。ところがそれを聞き傳へて頒けて貰ひたいといふ希望者が全國各地からあるやうになりましたから、とても忙しい自分の手にはおへなくなりました。それで郷里の親戚の者に製造させて希望の者に頒つてゐました。その後、定價をつけて一般の需要者に頒布させるやうにしましたが、それも殆ど廣告らしい廣告をして賣ることを禁めてあります。その理由はといふに『活力素』の存するままの効能を吹聽しても何だか世にありふれたいかさまものの賣藥や滋養劑と同一視される恐れがあるからであります。私が責任を以て發見し、自信をもつて人にすゝめ得る『活力素』を、さういふいかさまものと混同されては、實に心外にたへぬからであります。私は自分の利欲のために『活力素』を世に廣めやうとは思ひません。私の願は、私と同じやうに病苦に惱んでゐる人に、私と同じやうに健康の喜びを頒ちたいといふのであります。（『主婦の友』より轉載）

◆活力素は　東京市京橋區五郎兵衛町活力商會電話京橋一五九九番振替東京二二〇八六番で發賣し定價一ヶ月分三十瓦入一圓八十錢送料十五錢で其他十二圓及廿三圓の徳用大瓶もあります



ミツワ家庭常識文庫十一ノ二

弱法師の話

二月の梅花を點出せる能曲。施行の場にて孫子に邂逅ふ。

中村鴈治郎談

シテ『あら有難や候や。花の香の聞え候。いかさま此花散りがたになり候な。ワキ『あふ是なる籬の梅の花が弱法師が袖に散りかゝるぞとよ。シテ『うたてやな難波津の春ならば、唯この花とこそ仰せ有るべきに。今は春べも半ぞかし。梅花を折つて頭にさしはさまざれども。二月の雨は衣に落つ。あらおもしろの花の匂やな。……と云ふのが謠曲弱法師の梅花問答の處でございます。この弱法師は河内の國高安の里に、左衛門尉通俊と云ふ人、俊徳丸と云ふ子がありましたが、人の讒言によつて追ひました。俊徳丸は父に捨てられた不幸に悲しみ歎いて盲目となつて所々をさまよひ歩きました。足弱のよろめき歩くところから、人が弱法師弱法師と呼びました。父通俊は追うた子を不憫に思ひまして、天王寺で一七日の施行を營みました。此の施行の場で此の父と弱法師の俊徳丸とめぐりあひ、喜んで、連立つて高安の里へ歸つたと云ふものでございます。天王寺の梅が風景になつて居りますので、二月の能と云ふことになつて居ります。深い餘韻を持つた曲でございますので、一般に持て囃されて居ります。二月は寒さの盛りでございますから、入浴が又とない樂の一つでございますが、此際洗料のミツワ石鹼が、この入浴の樂を助け、効果をあげるに缺く可からざるものでございます。掌で溶きました時の様に白い泡沫が皮膚を荒さずに汚垢を落しまして、生々と滑らかな皮膚にします。此の皮膚の濕氣を拭き除りました後へ、ミツワ粋の雫を擦込む様に塗つて置きますと、これは皮膚に潤澤を持たせ、肌理を細やかにする芳香健膚藥ですから、此寒さにも皮膚のあれを知らずに過せますのでございます。

家庭治療法小山田醫學士編　特價金五拾錢を添へ御申込次第送呈

口中村魁車曰く　二月には頭髮用香水のミツワ月の雫をお備へになる様におすゝめ致します。よく髮脂がして、頭がむず痒くなつたり、仕事の中に頭痛がむしやくしやしたり致しますが、斯う云ふ時ミツワ月の雫を髮にふりますと、髮脂はされていゝ芳香が殘り頭が澄んで爽かになります。

發賣品目錄送呈　東京橋町　丸見屋商店

口林長三郎曰く　二月は家庭が何がなし寂しいものですから曖昧を添へて花やがせます爲にミツワ花の雫をお備へになる様におすゝめ致します。座ぶとんに芳香をつけ、肌着にこれをつけ、朝の洗面、夕の入浴の湯に此ミツワ花の雫を少し滴して用ゐますと曖味と柔きが出て實に宜しいものでございます

ミツワ人參葡萄酒
元氣增進の効ある滋養強壯料
壜入　武圓貳拾錢

GENUINE COLD-PRESSED
MITSUWA SESAME OIL

品質優良にして香味卓絶、消化吸收容易なる食料品
小平理學博士推奬　模範的滋養食料用
冷壓純粹　ミツワ白胡麻油（みつわ・ごまのあぶら）
定價　壹封度壜入　金壹圓參拾錢　壹升鑵入　金四圓

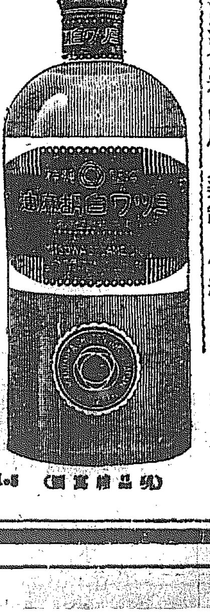
冷壓製ミツワ白胡麻油は、普通の胡麻油とは全然其製法を異にせるものにして、精選せる白胡麻の種子を完全なる冷壓法に依りて搾取せるものなり、香味頗る佳良にして永く貯藏するも變敗の虞無く、消化吸收容易なるを以て、サラダ油として食料に供し、殊に天麩羅の揚油として、最も好適なることは其輕快なる他に優れる風味の賞する所なり。元來食料として脂肪を攝取すべきことは營養上必要なる條件なるが故にミツワ白胡麻油の如く、品質優良にして消化吸收容易而も發價甚大なる植物性脂肪の攝取は營養の完全を期するに最も肝要なるものなり。

試驗成績報告
一、◎冷壓製ミツワ白胡麻油
本品ヲ試驗スルニ淡黃色ノ液ニシテ特異ノ芳香ヲ有シ胡麻油特有ノ實驗反應ヲ呈ス之カ試驗成績ハ左ノ如シ
比重（攝氏十五度）　〇、九二三
屈折率（攝氏二十五度）　[illegible]
鹼化數　一九一、八
沃度價　一〇八、七[illegible]
ライヘルト・マイスル數　[illegible]
ヘーネル數　九五、二五
右ノ成績ニ依レハ本品ハ胡麻油トシテ品質善良ニシテ最モ食料用トシテ供スルニ好適ナリトス
大正九年八月
◎ミツワ化學研究所
技師　理學士　小平　勳

天ぷらの揚油に就て
天ぷらを食して胃腸を害するは其油が消化吸收せられぬ故である、白胡麻油で良く揚げた天ぷらは美味にして而も決して胃腸を害せぬから、曖氣出で又は下痢する等の憂ひは更にない。之れ從來の油と其製法を全く異にして容易に消化吸收せらる「冷壓純粹」の白胡麻油であるからである。

天ぷら用
サラダ用
調味用
食料油

賣捌　和洋酒食料品店、藥舖、化粧品店、雑貨店



1-5　（現品縮寫圖）

最も服用し易い錠劑の婦人藥
小平理學博士監督製劑
◎ミツワ婦人湯藥（みつわふじんのみぐすり）

適應症候　血の道、頭重、頭痛、逆上、眩暈、貧血、月經不順、腰痛、下腹痛、白帶下、膣炎、子宮内膜炎、子宮外膜炎、喇叭管炎、卵巣炎、姙婦並産婦急癇。

定價　百錠入　金[illegible]

婦人病の症狀と療法

血の道（ヒステリー）——神經が過敏になり、妄に興奮し、感情が變り易く、悲觀嫉妬し、嫉妬深くなり、我儘になり、頭は重く或は痛み、顔色が惡くなり、時には眩暈がして、眼が見えなくなつたり、耳が遠くなつたり、平素好まぬ物を喫ぎたがり又食べたがりして、激苦しく、心悸亢ぶり、呼吸も促り、夜も眠られず、食慾は減り、便通は思ふ樣に無く、月經は不順になり、手足が冷える。斯かる場合には、精神の過勞を避け、感情の亢ぶらぬやうにし、ミツワ婦人湯藥を服むに限る。

冷性（貧血）——顔色が蒼褪め、唇や眼瞼結膜が淡紅色になり、僅に動いても呼吸が促り、心悸が亢ぶり、頭痛や胃痛を訴へ、往々耳鳴を發し、夜も眠られず、心身は疲れ、食慾は減り、物を欲しがり、便は秘結し、月經は不順となり、足踝や眼瞼に浮腫が來る。斯かる場合には、安靜にし、過劇な運動を禁じ、牛乳、鷄卵、獸肉、綠色の野菜類を攝り、滋養料としてミツワ規那鐵葡萄酒や肝油ドロップスなど鐵を含んだものを用ひ、藥としてミツワ婦人湯藥を服むに限る。

月經不順——月經が來ないで、外から血が出たりして、頭痛や腰痛があつて、腹部が苦しく、胃腸が害はれる無月經。月經のとき初から出血が多く、或は月經中出血が止まるやうになつては更に甚しくなり、血して、頭痛、眩暈、耳鳴等がして、ヒステリーに陷る月經過多。月經前から或は月經のときに、子宮が痛み、腹が吊り、下腹が重く、食慾が減り、頭痛がして、惡心や嘔吐を催し、心悸の亢ぶる月經困難。斯かる場合には靜に寢て居て精神を使はず、ミツワ婦人湯藥を用ふるに限る。

本劑の能と用法の効
ミツワ婦人湯藥は婦人の體質に鑑みて、其の日常の生活に於ける精神的及肉體的異狀を淨化し或は治癒する目的で調製したもので、頭痛、眩暈、帶下、下痢、補血の五つの作用を具へてゐるから、以上の如き疾病に對して效能確實である。それに本藥は錠劑に製つてあるから、煎じたりする手數が無く、其の儘嚥下して後、白湯を飲めば宜いので、苦いとか辛いとか厭な味を感ずることが無くて、至極服み易いものである。

▼如斯人はミツワ婦人湯藥を用ふべし▲
一、血の道の婦人　一、冷性の婦人　一、手足の冷える婦人　一、時々逆上の婦人
一、感情の變り易い婦人　一、妄に興奮する婦人　一、頭の重く痛む婦人　一、心悸の亢ぶる婦人
一、逆上る婦人　一、眩暈する婦人　一、眠られぬ婦人　一、貧血の婦人
一、顔色の蒼褪めた婦人　一、月經の滯る婦人　一、月經の多過ぎる婦人　一、月經不順の婦人
一、白帶下のある婦人　一、腹や下腹の痛む婦人　一、子宮病のある婦人　一、膣炎喇叭管炎の婦人

京取仲買組合總會

撤回期成實行委員選定

既報の如く京取仲買組合臨時總會は七日午後六時より市場樓上に開催市場側よりは松尾取引役列席開會務理事井口仲買委員長の京取株短期上場廢止に就き京取重役側との交渉經過報告あり池田仲買人より撤廢理由を質問せるが之に對し松尾氏は京取株の短期上場は兎角に市場紛擾の導火線たり易き觀あり此の際に就ては總督府よりも特に注意あり熟考研究を怠らざりし所偶々シンジケート解散せるに付き此を期として京取重役會にて撤廢を決議したる旨を答へたるが京取重役側も京仲側其他四圍の情勢に鑑み之が實行期に就ては未定の態度なるを以て仲買組合側は之が撤廢を要望し假りに市場側が主張し居る如く京取株に代るべき形態株を上場せしむるも其株が果して紛擾の因とはならざるかとの理由如何と突き込みたる質議も出で結局無期延期と云ふ如き態度に出でず撤廢を要求することゝして左記十名實行委員を擧げたり

△井口隆造△有田長△白井友之助△高松靜太△櫻谷與三郎△李晋△金顯龍△李瀧馨△川崎良太郎

尚ほ經過報告次いで責任者の件に付き議論の緊急動議ありたるが結局委員を増加し[illegible]長より東京取引所に對し京取仲買人全般の信用を失墜せしむるが如き記事を掲載せる新聞記者に對して詳細なる顛末を公表して輿論の疑惑を解くことに決定して十一時散會せり

朝鮮私設鐵道現勢（上）

私鐵根基の原則＝合同は目的分立は振興手段

鐵道の普及發達が朝鮮開發上の緊急要事たるに對し其根本的解決を與ふる重要機關なることは識者の夙に認知する所なり而して鐵道の助興は時に國有の豫定線は一部に財界の狀況なり國有鐵道の建設と併行して從來の國有豫定線は一部に該當する線路を各私設會社に於て

基本線　とする計畫なるに於て私鐵各社の經營は朝鮮鐵道網の完成に重要の關係あるものとして總督府が私設鐵道に集中せられたるは朝鮮私鐵の本質上の勢の然らしむる所にして其使命と其將來に於る價値とが重大なる地方鐵道と其趣を異にするものなることを立證するに足れり爲めに私鐵各社創立の當初に於ては株式應募の成績極めて良好にして

其設立　經過の如き頗る順調なる時日の間に斯業の進捗を見一躍にして一千萬圓以上の會社五六社を算し資本總額一億三千萬圓を突破するに至れりされど此等會社創立後幾ばくもなくして財界變動に遭遇し資本拂込資金の最少限度（一株五圓拂込）に止まりしもの多數なりし事の障害には直に第二回以後の拂込を要したるも株價の低落と

金融の　逼迫には之れが拂込に非常の困難を伴ひ多數の會社が進退に窮する狀態に陷れる際に乘じ不圖私鐵解散の聲を聞くに至れり斯かる聲は得て起し易きものにして當業者の輿論は安心を許さざる狀態なりしなり然れども斯くの如きは實に鐵道事業に對してのみならず當時一般に新事業に對して起り易かりし風潮にして而も朝鮮私鐵は前にも云へるが如く（一）拂込金の最少限度に止まりしものの多かりしこと（二）未だ資金を固定せしめず現金を擁藏したることが解散說の乘じ易き特殊の原因にして

其事業　的性質又は經營より起れるものにあらざりしは明かなり若し夫れ事業的性質又は經營上の缺陷に由りて會社存立の基礎を失ひ社會の信用を得ざる會社に至りては固より多數の株主あり鐵道會社は此點に於て世間有數の確實會社と何等遜色あるものにあらず只（一）第一回拂込が最少限度なりし爲め各株主は多くの未拂債務を株式に對して有せること（二）株式に對する金融梗塞せられたること

に因りて**株主の**　不安を惹起せしめたる結果株主中の一部に於いて故朝鮮私鐵の狀況前記の如く內に株主の動搖あり外に私鐵補助問題の決定未だ定まらざりし時なりしかば私鐵問題は識者の間に種々に論議せられ一般株主の解散說は二三會社に於て實現を見るに至れる爲め之れが經營上の問題として私鐵補助問題を論議せらるゝに至れり私鐵當事者に於ては補助問題は株主の動搖に對する第一の對策として又私鐵補助の唯一實行手段として身命を傾注したりと雖も外部の測論者としては私鐵救濟策として私鐵合同說を唱へられたり

解散　等を策する不穩當なる言動を主張する論者もありたるが私鐵合同論は單に株主の都合上より朝鮮私鐵の本來の經營とは大いに其趣きを異にし朝鮮私鐵事業を阻礙し其根據を動かすが如き議論にして私鐵當事者に於ても相當の敬意と考慮とを拂ひ且つ私鐵事業の將來に對し其使命の益々重且つ大なるを感じたる次第にして私鐵各社と雖固より其方策の善良にして實現の可能性を有するに於ては諸般の事情を勘考し最良の策に應ずるに吝かならざるものに非ず各社事業の未來と株主の利益を損せざる程度に於て朝鮮私鐵の基礎益々鞏固なるものあるに至らんか其之を實行するに何等躊躇するものに非ずと雖も當時私鐵合同論の如きは單に抽象的論議に止まり未だ實行的具體案に觸れず其之か實行に當りては幾多の考究を要すべき

難件　あり即ち各私鐵會社は皆其經營方面を異にする大株主又は重役を中心として各特殊の事業と組織とを有するものを合併の必要に基き最も其運用は若しくは一の統一及運用に依らずして適當の時機に依らず單になくして合同後相當の有利條件の見込を缺き弊害に對して如何なる新事業も創業當時には相當の波瀾あるべきを辛抱し切ずして蒙り之に變革し却て行詰り上の責任と苦心經營とに依て成功の結を得せしむる熟を減殺することなきや等の判斷を必要とし猶容內的に左の如き考慮を必要としたりしなり

（一）合併後の資本額を各社資本額の總計に對し如何定むるや

（二）各社豫定線着手の順序を如何定むるや

（三）各社株主が合併後取得する株式を如何換算するや

（四）各社の附帶事業又は地方との關係を如何に處理するや

（五）業務の擔當者を如何にして定め如何なる人物を適材なりとするや

（六）各社を合併し其資本額を增大するのみにて果して會社の信用增し拂込借入金等所用額を獲得し得らるゝや

（七）合併後會社の信用を增進し拂込借入金を獲得するが爲めに特殊の利權又は適好なる補助條件等の得を必要とせんか果して何ものを要求し如何なる程度迄其可能性ありや

朝鮮私鐵に對し甚だしく其氣勢を減せられたる時に當り殊に何れの會社も其社勢大同小異なる時に當り單なる

合併　が會社の信用を增進し事業の進捗を促進し得べしと考へられ得るものか合併したるが爲に有利なる條件を獲得し得られる各社株主をして有形無形の好餌を得せしめざるへからず假令總ての事情を斟酌し各社誠心相讓りて補助し得たりとするも政府果して補助率を增加し得べき乎金融機關果して其金融を緩和し得べき乎株主又進んで其拂込を爲し得べき乎事態合併前と何等異る所なきに於ては一社の有する缺陷は全體の缺陷となり一社の有する特殊事業乃至特殊關係は其影響全體に亘り一度大損失を免れなるに於ては單なる一社として全體の動搖拾集すべからざるの恐ありて不如過渡期に於ける狀勢とては各社自由なる發達に委し優劣敗を自然の數に託して各社最善を盡さしむるには是れ當時私鐵當事者の合併に對する

見解　にして各社が宜しく各自性を發揮して其難局に邁往邁進の決心をなしたるは合併問題が尚其議實行的具體案に觸れず異なる私鐵保存の側面として時局に對して其實行論として或は主唱して全然反對の意を表したるにあり併乍私鐵當事者と雖此合併論の未だ熟せざるを感知したればとて會社合併論國私鐵合併論拓殖鐵道論等の提唱を試み寧ろ合併論の進行に趨勢を添へんとしても此等提案の趣旨未だ世間に周知せられず依然として私鐵合併てふ抽象論以外一歩も其實行に進捗せざりしは遺憾の至りなりされど此合併論が私鐵各社に對し其將來の

運命　に一つの暗示を與へ私鐵事業の根幹に一大原則を與へたるは事實にして朝鮮私鐵の將來の一個不可分體として相當の時機に於て相合一さるべき運命あるべきは豫め想像せられざるに非ず只其時機と方法と形式とが如何なる動機を得て如何實現さるべきかが問題なり故に朝鮮私鐵の將來は其實質が交通機關不可分の原則に依り將來或程度に若くは朝鮮鐵道政策の根本案に基き合一されるべく運命を有するとするも其時機と方法と形式とか其宜しきを得ざるに於ては寧ろ合併せざるに優るものもあらんこの點精致なる理解を要するの點に屬す

全鮮商議主眼

實行運動如何

來る十七日開催さるゝ臨時全鮮商業會議所聯合會に於ては主として鮮內の開發促進及朝鮮產業の發達に關する諸問題を附議さるべきが之れが實行方法としては總督府及政府に運動するは勿論場合に依りては東上委員を選定して議會に運動するに至るべく各地會議所より提案にかゝる開發促進に關する委員會開催の件も確定し中央商工業に關し產業組織に關する件等は民間產業調查會とも稱すべき產業調查機關たるべく同機關は會議所の目的とする事業の聯合會附議事項實行上の別動隊として組織せらるゝに至るべしと

通商株申込多し

通商株式會社は當業の諸業者並に川崎市川愛氏の經營せる通商組織に變更せんとすることは既報の通りなるが同株式の申込は八日までに一萬八千株に及び締切期限の十日までには尚多數の申込あるべく豫想さる

京城株式取引所市場仲買　引取

源　南商店

明治町二丁目　市場構內　振替京城二九九九　電長一八五　一〇九六　一六三一

株式　賣買

福德生命總會

福德生命保險會社は本月六日第十回定時株主總會を開き大正十年度の決算報告並に部の計算書を承認し當期利益金の內保險契約に對する利益配當金として七萬二千圓を決議し任期滿了の監查役渡邊定一郎、中尾權輔の兩氏再選重任せり

京取重役會

京取重役會は七日午後二時より開催京取市場仲買株百三十株の處分方法及び京取株短期上場撤廢の件を附議したるが撤廢案は無期延期に決せり

仁川米豆取引所仲買人

北島仲買店

電話長三一八番　三六番　本店電話一七二番　二七二番

滿鮮木材建築界

滿鮮木材建築會にては滿鮮產木材の大々的宣傳販路擴張に朝鮮及滿洲內に於ける聯絡を圖り各地木材業者と建築業者の間を密接ならしむる目的を以て今回滿鮮木材建築會報を發刊する事となれり

有價證券　現物賣買

京城府明治町　榮屋株式店

振替京城二四一五番　電話長二六三　一五一番　二五〇番

安東株式

○八日後場　　寄付　大引
安取當　三九、七　三九、四
　　先　三九、七　四〇、一

仁川期米

水野仲買店

電話　一五〇番　二六〇番

りん病　ばいどく

◎淋病藥主藥は治淋劑とし梅毒藥主藥は驅梅內服藥とし醫藥學上最有效と確定し歐米醫科大學帝國醫科大學病院等にて賞揚配劑せる高貴藥なることを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は百圓進呈　あらゆる治療をなすも効なき患者は兎に角一度來談あれ。

請合藥　一圓五十錢・二圓五十錢

心臓病

◎顏色蒼白、眼瞼の血色漸次薄らぎ、少しく過劇の運動をしても忽ち動悸昂進するのは心臓病である之を打捨て置けば危險である、斯る徵候の方は有田ドラッグに御相談あれ　◎本劑は服用五日目に動悸を和げ、呼吸を容易ならしめ、便通をよくし、咳嗽を止め、血液の循環を容易ならしめ漸次回復期に向はしむ。

請合藥　一圓

胃腸病

◎胃腸病には種々の病症がある、一藥を以て總ての胃腸病を治癒せしむることは不可能である、故に商會は種々研究の結果、胃腸病藥拾六劑を調製し、各種の病症に適する藥劑を提供します殊に一號胃腸劑には時價一瓶百二十圓の高貴藥を主藥として配劑せることを保證す、何人にても分析の結果前述の證言に違へる事を發見せる方には分析料金百圓進呈す。

請合藥　一圓

製劑者　東京　大阪　有田音松

發賣元　東京日本橋通四丁目　大阪三休橋北詰　有田ドラッグ

京城南大門外電車通　朝鮮專賣所　有田ドラッグ　長電話三五六七◎振替京城四六七

京城黃金町電車通　京城鍾路十字街

鮮滿　專賣所　有田ドラッグ

全國到る所に專賣所あり　有田ドラッグ專賣所にて御買取あれ

喘息　ぜんそく

◎喘息は傍の見る目も氣の毒な程苦しい病である如何に痰の喘息でも本劑を服用すれば三日目より氣管支の狹窄を治し呼吸の困難を和げ、ふやうに除き得る最新良藥である、論より證據、現に數年間種々治療しても治らぬ患者が、一週間服用したのみで治つたので一家大喜びで禮に來る者がある。

請合藥　一圓五十錢

腦病　神經衰弱

◎腦病は恐るべき病である食事中にコロリと死だり、入浴中に死する者もある、腦充血、腦溢血等はそれで、實に危險極まる病である、元來腦は精神（神經）の集まる處で人體中最も大切であるだから腦が健全でなければ何事に從事しても成功する能はず遂に失敗者となり一世を不遇に畢らねばならぬ。◎本劑は服用二日目に腦の痛を止め精神を爽快ならしめ漸次快方に向はしむ

請合藥　一圓五十錢

はいびょう　ろくまく

◎本劑の主藥は治肺劑として最も有效と確認せられ歐米各國の大病院は云ふに及ばず我醫科大學病院等に於て賞揚配劑しつゝある內務省衛生試驗所の嚴封せる治肺特効藥なる事を保證す若し此證言に違へる事を發見せる方へは分析料として百圓進呈す。本劑は服用三日目より咳を鎭め食慾を進め熱を去り盜汗を防ぎ腦を靜て安眠せしむ

請合藥　一圓・二圓五十錢・四圓五十錢

他の藥店に販賣を許さす

有田ドラッグにて買取られよ　有田ドラッグ以外にあり

ホーカー化粧品は原料が互ひによく調和して居りますから安全で且つ調和した美を得ます

お塗けなさい。貴女の大切な肌の爲に　肌の眞底から美しくする

アレ止めの　ホーカー液

朝に塗ける一滴は色を白くし　夕に塗ける一滴はキメを細かにす

定價　小一八〇　中二五〇　大一〇〇〇

水白粉　上品な薄化粧に良い　ホーカーパット

離されぬ姉妹化粧料

ノリノビツキ共に申分なく御好の白さに斑味のないので悦ばれます

ホーカー本舖　東京神田和泉町　堀越嘉太郎商會　振替東京一五六

本舖宛御注文の際は振替か切手前金の事送費六錢

月やく

こまりにて他の藥用ひ効なきものも此の藥を服用せばあれ必ず治癒す心配の方は御一讀御來談ありたし進歩せる月經不順及び御藥の御案內書は大阪市にて

二圓五十錢　十二錢　振替東京二五〇三六番

東京市四谷區信濃町電停前　森田屋本店

代理店　釜山辨天町　藤田藥舖

往診　自午前八時至午後十二時
宅診　自午後二時以後　花柳病は特に夜間診

仁川仲町二丁目（仁川俱樂部前）

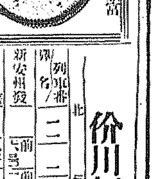
壬生醫院　電話六二六番

入院隨意　喀痰、血液、糞尿其他細菌檢査診斷の需に應ず

●現今各階級を通じて非常に好評を受け居る品、原料を嚴選し各部分を精密に製作したる瑞西國製高級時計

特價　△純ニッケル側拾六型片蓋　金拾六圓八拾錢

特價　△銀側腕卷時計　米國エルヂン會社製　送料一個四拾錢　貳拾五圓五拾錢



商用と家用の正確なる點に於て他の追從を許さざる特製品是非一個を御座右にお備め致します

合資會社　京日代理部　京城大平通　振替京城三〇〇九番　電話長六〇〇番　電話二七四八番

价川輕便鐵道時刻表

北行

驛名/列車番	一	三	五	七
新安州發	前[illegible]	前[illegible]	後[illegible]	後[illegible]
安州着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雲興里着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栗岬里着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
泉洞着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	

南行

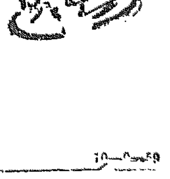
驛名/列車番	二	四	六	八
泉洞發	前[illegible]	後[illegible]	後[illegible]	後[illegible]
栗岬里着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雲興里着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州着・發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新安州着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京价川輕便鐵道

美味滋養　蜂印香竄葡萄酒

國民飲料

として　葡萄酒を食前三十分に飲用することは　昔く歐米の各階級に行はれてゐることであります　文化生活に眼覺めたる現代人は　須らく品質本位の蜂葡萄酒に依つて　精力主義の下に活動することを先づ心懸けねばなりません……



株式會社　近藤利兵衛商店　東京本町

浮草 (177)

入江新八 作　守田早苗 畫

彼女の噂（四）

その翌る朝、道代はまだ霧と東の靄の白み掛つた頃起きた。昨夜は臥床に就くと直眠ることが出來た。ケエ氏の室の次に四疊半の小ぢんまりした座敷があつたので、其處へ女中に臥床をのべて貰つた。女中も旅館の主人達も道代をケエ氏の新しい奥様だと思つてゐたのに、別々に臥床をこしらへさせたのでオヤ〳〵と思つた。それではお弟子さんでせうといふやうなことを蔭では話たが、中にはケエ氏の情婦だらうといふのもあつた。道代は斯うして全くケエ氏とは夜を離れて寝むことは安心だつた。それでよく安眠も出來たのだつたが、朝は起く早く眼が覺めて、もうそれから寝つかれないので、獨りで湯に浸つて來た。歸つて見るともうケエ氏も起きてゐた。

『此れから一つ散歩して見やうぢやありませんか。』とケエ氏は誘つた。道代は昨夜解いてねた頭髪を、ぐる〳〵と手早く卷いて一寸顔をこしらへた。ケエ氏は其後に立つて珍しさうに道代の容子を見てゐた。昨夜一晩彼は能く眠られなかつたがそれでも氣分は少しも惡くは無かつた。道代の顔を見ると一層せい〳〵した。兩人は並んだり、後先になつたりして兒ケ淵の方へ歩いた。しつぽりと露にぬれた山の樹々や、道傍のいらくさや眼覺めた緑を濃く〳〵彩つてゐた。水の流れにその淡い色が溶けて瀧瀨はひつそりとしてゐた。併し直にその靜かな瀧は瀑布となつて遠くへ漲る響と、飛沫の霧とを四方に散らしてゐた。それから彼等はまた瀧の冷淵の方へ歩いた。そして丁度兩人が瀧に辿らうとした時に、向ふから瀧を渡つて來る一人の婦人があつた。其婦人は早曉のまだ誰も人氣の無い時を、自分獨りの世界のやうに此の山と水との姿を眺めやうとしてゐるらしく瀧の中腰に立留まつて岩に激する水面を見てゐた。彼女は聯想をまた靜かに歩み出した時、向ふから男と女とが來るのを見た。自分が一番早起きだと思つてゐたのに、もう、あゝして兩人伴れで歩いてる一組があるのを見ると、何だか魅されたやうな氣がした。で、その兩人伴の方へ注意の眼を向けると、それがケエ氏と道代であることが分つた。昨夜、もう彼等の來てゐることを知つてゐるので、彼女は驚きはしなかつたが、此處で兩人に逢ふのを嫌に思つた。ケエ氏は道代の手をひかんばかりに接近して歩いてゐた。何か親しく話をき乍ら。——道代は一人の美しい婦人が歩いて來るのを見た。隨分早起きの人だと見ると、その婦人が秋子先生だつたのでハッと思つた。さう氣附いた時は、もう狹い欄干でバッタリ出逢つた時だつた。秋子だと氣が附いた。ケエ氏もその婦人の顔を見たときにお辭儀をした。ケエ氏に會釋する程のお辭儀をした。秋子はケエ氏も輕くその一禮を受けてゐた。彼等は日頃から顔は相互に知り合つてゐたのだつた。道代はケエ氏から半歩程おくれて歩んでゐたので、自然に兩人は顔を見合さねばならなかつた。

『……あら、先生、暫らくでございます……』と道代の喉まで言葉が出たが、どうしたのか聲が扁桃腺から外へ出ないで引込んでしまつたので道代は顔を低く丁寧に下げてお辭儀をした。秋子は、それに先と同じやうな會釋をした儘で行き過ぎてしまつた。道代は三四歩あゆんだ時にホートとした氣息を吐いた。此世の中に誰より自分の敬慕した秋子先生、さうして誰よりも自分を親愛して下すつた秋子先生——その懷かしい先生にやがて一年振にお目に掛ると思ふと目に涙が滲んで來た。

『今のは秋子さんだね。』とケエ氏は云つた。

『え、さうでございましたわ。』

『あなたはあの人の家にゐたんでせう。』

『え、先生』

『それだのに、兩女共ダンマリで別れてしまつたのは面白いね。』さう云つて意味ありげにケエ氏は道代を見た。そして其の眼に涙のあるのに氣が附いた。

皮膚科 外科 専門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話三三五八番

京城明治町一丁目 寫眞材料商 島田誠昌堂 電話六九〇番

天下一品 京染 にや 京城本町三

短歌　尾上柴舟選

題『力』

○京城　木内爲棲
胸病みて久しく臥せる友の咳力なくなれり悲しこの秋

○同　中村久雄
深き森なかば切りたる赤松に枝むすび曳ける樵夫等の腕力

○鎮南浦　大里鶴月
新しき光を浴びて今日しわれ限りなき道を力得て行く

○瑞興　渡邊茂登意
吾子ゆゑに力なき身も辻車曳かまく思ふ心となりぬ
はゝそばの母はもとより父もなほ力とたのむこの吾あはれ

○群山　北川きぬ鶴
力なく學舍へ行く弟の淋しき影が胸をはなれず
力なき身とは知れども時々は神に背きて荒き言葉す

短歌募集

課題『摑み』『題』　選者 尾上柴舟先生　賞金 天位金壹圓　締切 二月十五日　注意 各題別紙五首以内、用紙葉書、宛名京城日報社文藝係

河原寫眞館 電話二九八一番

俳句　編輯局撰

題『餘寒』

○潮の花再び凍る餘寒かな　草坪　東村
○劍影に殘る寒さや風の音　京城　春曙
○獨り打つ碁石に殘る寒さかな　長興
○三條の小橋人絶えて春寒し　京城
○楊柳に殘る寒さや朝化粧　安州
○鳴きもせぬ檜の鳥や春寒し　大邱
○春寒く人なき茶屋の暖簾かな　寧邊
○春寒し日蔭の雪のつらゝかな　仁川
○病む妹の枕邊更けて春寒し　京城
○春寒し主人待つ夜の針仕事　大田
○普請場に焚火のあとや春寒し　京城
○行燈の灯影に殘る寒さかな　同
○戸を叩く音を憎むや春寒し　仁川
○尾寺の垣に落ち陽や春寒し
風邪に寝て煙草味なき餘寒かな

俳句募集

課題『東風』『柳』　選者 本社編輯局　賞金 天位金壹圓　締切 二月二十日　注意 各題別紙五句以内、用紙葉書、宛名京城日報社文藝係

新刊紹介

▲前後に於ける露國の齋藥と勞農露西亞（非賣品日露協會）

▲青春時代（二月）新時代に處する道（井上博士）讀樂に身を過つた私の告白（三婦人）其他小唄や小説、童話や身上相談等（四十錢東京神田區小川町甲寅出版社）

▲文章倶樂部（二月）眞の矜持（片上伸）小説提灯（吉田絃次郎）創作談（舟木、長田）を始め記、感想、註譯文藝講話等豐富（三十錢、京牛込矢來町新潮社）

▲眞宗の世界（二月）野依氏執筆の宗教論、谷本博士の歡喜鈔の新しい看方其他（三十錢東京赤坂區溜池町大日本眞宗宣傳協會）

▲偉人之研究（二月）岩瀬肥後守（高橋淡水）リンコルンの幼時（吉田甲子太郎）西郷の人格（客外閑人）栗鑒と大隈侯（栗鑒園）其他偉人研究上有益記事（三十錢東京京橋區元數寄屋町現代堂）

▲内鮮女學生（二月）内鮮女學生刊行に就て（水野錬太郎）を始め内鮮女子に對する希望、若い婦人と母に與ふる言葉、等女學生必讀の記事満載（四十錢京城平洞一八牛島文學社）

▲黒白（二月）十五錢東京京橋區築地其發行所

▲大日本蠶糸會報（一月）三十五錢東京麴町區有樂町其會

▲警察新報（一月）三十三錢東京下谷區中御徒町其社

▲獨逸語青年（一月）三十五錢東京小石川區關口町三四其社

泌尿科 梅毒科 専門 小山尿科醫院 京城黄金町二丁目

物理療法 X光線 ＝ファラヂアテルミー＝ 京城日本代理部 施術時間は毎日午前九時半から午後五時迄（電話二七四八）

▲難病に惱む人は速かに物理療法を施されん事を御勸めします慢性の難病でも速かに快癒するものが澤山あります

▲神經痛やリウマチス、腳氣、神經衰弱、筋炎、睾丸炎、淋疾性關節炎、或は性病リウマチス性心臟病等は勿論のこと、慢性の胃腸病や腎臟炎や婦人病などには驚くべき効力があります

▲痔瘻ルイレキ腋臭脂肪變性水虫の如き頑固な皮膚病など全ての厄介な病も全治します。

家庭相談

▲二月四日本紙に一『兒女』として一校長の果女教員が兒童に冷水で掃除させたのに對し其不平を憤慨してゐたやうだが之位のことに對して不平を言ふやうでは安全な常識でないと思ふそんな心掛けの親に育てられる兒童の將來が思ひ遣られて可哀相だ祖先が墓石の下から泣いて出ますぞ意氣地なしども（仁川の心配生）

▲九日附の一病者さまへ、喘息の妙藥を知つてゐるのは黄金町三の三四八柳田氏のことでせう私も此の藥で永年の喘息の癒つた一人です聞き合せて御覽なさい（本町山口）

▲慢性氣管支加答兒または肺結核加答兒は貴社の物理療法で全治しませうか（一讀者）▲答、此種の病氣は醫師に就て服藥すると同時に物理療法を施すべきもので割合氣永く療養する必要があります回數は病氣の程度によつて一定しませんが料金は一回一圓五十錢位です（係）

▲私は或る事情のため婚家を去り當地の叔父の家に寄寓してゐるものですが今後兩三年平和な嚴格な家庭に御奉公したいと存じます御使ひ下さる方はありませんでせうか裁縫も一通りは心得てゐます（二十五の女）

▲中學を出て一年餘り或る大學に籍を置いてゐたのですが家庭の事情のため家を出て苦學してゐます何れか使用して戴けないでせうか（和歌山縣人）

▲某専門學校の一生徒よ白鐵一女學生と手を服交し醜態極でのザマは何だ少しは身分柄を辨へ給へ（岡燒生）

▲京城市内に獸醫はありませんか知らせ願ひます（愛讀者）

銘菓 杉の雲 トキワ謹製 發賣元 明治屋

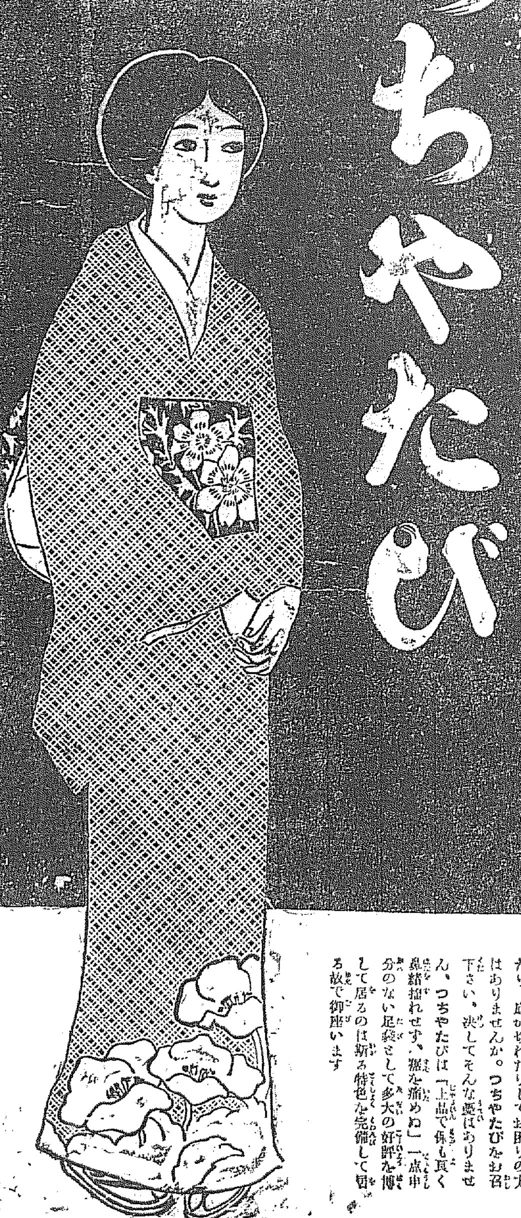
京釜線　京義線　京元線　湖南線　（汽車發着時刻表）[illegible]

豐な温味・輕い穿心地……上品で保の良い

足袋王 つちやたび

光榮録

侍從御差遣	明治四十四年
天覽	明治四十四年
綾授褒賞御下賜	大正三年
閑院宮殿下御台覽	大正六年
朝香宮殿下御台覽	大正六年
朝香宮殿下再度御台覽	大正九年
閑院宮殿下再度御台覽	大正九年
久邇宮殿下御台覽	大正九年
梨本宮殿下御台覽	大正九年
久邇宮殿下再度御台覽	大正十年



ありませんか

踵が痛んだり、綻びたり、色がはげたり、底が切れたりしてお困りの方はありませんか。つちやたびをお召下さい、決してそんな憂はありません、つちやたびは「上品で保も良く皺精損れせず、踵を痛めぬ」一點申分のない足袋として多大の好評を博して居るのは斯る特色を完備して居る故で御座います

癩病特効劑

ヒドノール

醫學博士 豐島豐次郎氏指導並ニ推奬

（注射用）癩疾患ノ治療的効果ハデイーン氏製劑"L"ト全ク同一ナルモ本劑ニ依リテ方ニ表顯セラレツツアリ

包裝 一c.c.六管入　二c.c.六管入　五c.c.五管入

Ⓟ 大日本製藥株式會社　本店 大阪北濱三丁目　支店 東京日本橋大傳馬町（各地著名藥店ニ販賣ス）

（說明書進呈）　H.6

優等清酒

本莊酒店 京城永樂町二丁目 電話六五四番

本莊支店 仁川京町 電話二六一番

本莊支店 安東縣大和橋通 電話一一七番

皇室御用＝米國本社製＝十分治療

病者の救主 ラヂオレーヤー○○○療器

正價三十五圓（無料）送料實費

ラヂオレーヤーは全世界家庭の醫療器にして即効著明効能を誇る

くの要なし

註文者は寄々たる數萬の說明書にて知らる本器の優秀は當局御内報あらば御便宜なり

京城代理店 龍山元町一ノ二八（ミスミ堂） 電話龍山七五八番 振替京城一四二五番

（滿鐵特約）

資本金 五千萬圓

積立金 貳千九百五十萬圓

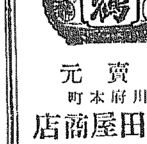
株式會社 第一銀行京城支店

京城府南大門通二丁目九番地 電話長一番 二一番 六二一番 三七番 一八八五番 振替貯金京城二番

頭取 佐々木勇之助

支配人 藤森忠一郎

天下の名釀



發賣元 仁川府本町 合資會社 增田屋商店 電話一〇九番

支店 京城旭町一丁目 增田屋支店 電話三四五番